函館ラ･サール高校同窓生著作リスト“知の集積”

【このリストについて】

2008 年 6 月、第 8 回函館ラ･サール同窓会東京支部総会の企画として、著作をお持ちの卒業生のリスト**“知の集積”**を作成しました。

■本データは 2025 年 5 月 25 日現在のものです。
■雑誌掲載文･学術論文･大学紀要･外国語論文等は外してあります。
■書名の前にある★は母校図書館の「卒業生著書コーナー」にあります（図書館購入本含む）。
■著者のペンネームは〔 〕で掲載してあります。
■〔著者略歴〕の勤務先等はデータ作成時のものです。変更された方はお知らせください。

※新刊を出された著者の方、著書を出しているがこのリストには未掲載という卒業生をご存知の方は、函館ラ･サール同窓会 HP 管理人･大塚智美（14 期） tommy764217g@a04.itscom.net までお知らせください。
※母校図書館では「卒業生著書コーナー」を充実するために、著書の寄贈を受け付けています。
寄贈先：〒041-8765 函館市日吉町 1-12-1　函館ラ･サール学園　図書館

【2025 年 5 月更新時の新刊情報　刊行対象期間：2024 年 11 月～2025 年 4 月】
樋渡　有さん（11 期）：『続　私の好きな曲』
今野　敏さん（12 期）：『昇華　機捜 235』
『秋麗　東京湾臨海署安積班』
佐藤大介さん（29 期）：『中高生から考える死刑制度　誌に値する罪ってなに？』
堀井悠さん（43 期）：『優れたリーダーはなぜ、対話力を磨くのか？』

この「知の集積」のリストの下に続けて、さまざまな芸術方面で活躍している同窓生を紹介したリスト「創造の森」も掲載しておりますので、ご参照ください。

著者　〔 〕はﾍﾟﾝﾈｰﾑ	書名	出版社	価格	発行年月

大　誠〔大地賢三〕（1 期）
〔著書〕
★『箱館戦争人物伝　最後のサムライたちの死生観』★『大地賢三短編集』上･下巻　『素顔の松尾芭蕉　「はせを」は果たして「俳聖」か？』★『大地賢三作品集』第一巻･第二編★『大地賢三作品集』第二

巻・第二編★★『箱館戦争始末　土方歳三の恋』（共にひねもすや出版）
〔著者略歴〕
1944 年函館市生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。元読売新聞記者。

竹内伝史（1 期）
〔著書〕
★『交通工学　新版』（共著・鹿島出版会）★『人と車[おりあい]の道づくり』（共著・鹿島出版会）★『地域学への招待』（共著・世界思想社）★『交通』（共著・オーム社）★『異国阿房列車』（風媒社）★『大都市圏空港「セントレア」構想の夢と現実　個性ある地域づくりのための中部国際空港』（出版協力/地域問題研究所）★『つれあいと行く異国阿房列車』（風媒社）★『新・都市計画概論　改訂 2 版』（編著　共立出版）
〔著者略歴〕
1944 年愛知県半田市生まれ。名古屋大学工学部卒業。名古屋大学大学院工学研究科修士課程修了。岐阜大学地域科学部教授。現在、岐阜大学名誉教授、〈一般社団法人〉地域問題研究所理事。

門脇誠一（1 期）
〔著書〕
『朝鮮語辞典』（共著・小学館）『日本学・敦煌学・漢文訓読の新展開』（共著・汲古書院）『日韓辞典』（共著・小学館）★『ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典』（共著　小学館）
〔著者略歴〕
1944 年函館市生まれ。北海道大学文学部卒業。北海道大学大学院文学研究科博士課程中退。北海道大学大学院文学研究科教授。北海道大学名誉教授（文）。

菊池俊治（1 期）
〔著書〕
★『木版画ノート』（共著　視覚デザイン研究所）★『つきがみていたはなし』（共著　こぐま社）
〔著者略歴〕
1944 年函館市生まれ。武蔵野美術大学油絵科卒業。同大在学中は棟方志功・恩田秋夫に学んだ。70 年、日本板画院展・新人賞を受賞する。各国に取材旅行を重ねて創作活動を続けており、個展も国内外で多数開いている。雑誌「論座」（朝日新聞社　2008 年 9 月で休刊）の表紙も担当した（2003 年 2 月～2005 年 9 月）。

志村智雄（1 期）
〔著書〕
★『志村智雄戯曲集　如月の華　九条武子ものがたり　夢千代日記』（ぶんしん出版）
〔著者略歴〕
1944 年函館市生まれ。早稲田大学第一法学部卒業後、東京演劇アンサンブル付属養成所を経て、70 年に「前進座」入座。現在、「前進座」座友として俳優、演出、脚本家として活動。舞台は歌舞伎から現

代劇に出演。舞台の演出も数多く、98 年、劇団俳小『どさ回りのハムレット』の演出で、池袋演劇賞豊島区長賞を受賞した。前進座特別公演「夢千代日記」(2010 年 10～12 月)、「如月の華　九条武子ものがたり」(2015 年 1～10 月)で劇作・演出をしている。2021 年 5 月 23 日死去。戯曲は劇団俳小「ケンジの森のバス停」「グットモーニング駒ヶ岳」「昭和奇想曲」、真夏座「見えない船に乗って」等がある。

藤田耕之輔(2 期)

〔著書〕

★『植物と微生物による環境修復』(共著・博友社)★『生物生産学のプロローグ』(共著・共立出版★『土と食糧　健康な未来のために』(共著 「植物栄養生理学」)

〔著者略歴〕

1945 年亀田郡大野町(現・北斗市)生まれ。北海道大学農学部卒業。北海道大学大学院農学研究科博士課程修了。広島大学大学院生物圏科学研究科教授。

山崎幸雄(2 期)

〔著書〕

★『日本語を使いこなす言葉の実用辞典』(共監修　小学館)

〔著者略歴〕

1946 年函館市生まれ。東京大学文学部第三類言語学専修卒業。東京大学大学院人文科学研究科言語学専門修士課程修了。新潟大学人文学部准教授。

川端和治(2 期)

〔著書〕

★『雇用関係の法律常識』(編著・日本評論社)★『クイズ法律入門』(共著・有斐閣)★『NHK ミニミニ六法』(共著・日本放送出版協会)『Q&A でわかるネットビジネス法律相談室』(共著・日経 BP 社)★『放送の自由　その公共性を問う』(岩波書店)　★『くらしの相談室　慰謝料 Q&A』(編著　有斐閣　)

〔著者略歴〕

1945 年虻田郡倶知安町生まれ。東京大学法学部卒業。霞ヶ関総合法律事務所弁護士。大宮法科大学院大学教授。

秋好憲一(3 期)

〔著書〕

★『健康食材おいしいゴーヤを召し上がれ』(環健出版社〈発売・三冬社〉)★『腸から始める老化対策』(環健出版社〈発売・星雲社〉)『健康腸寿　乳酸菌の力』(オルタナパブリッシング)　★『ヤツメウナギが世界の眼を救う　その驚くべき抗老化パワー』 (文化創作出)

〔著者略歴〕

1946 年佐賀県生まれ。三笠市出身。成蹊大学卒業。理学博士。NPO 法人「予防医学・代替医療振興協会」日本事務局長・常任理事専務理事。生活習慣病予防や中高年の更年期克服など、予防医学の

意識普及や日本型食生活の見直しに精力的な講演・執筆の活動を行っている。

遠藤八郎（3 期）

〔著書〕

★『日本人の英語　外国人の日本語』（三省堂）『英語は第 2 の日本語だ！』（英潮社新社）★『心と気持のほぐし方』（三省堂）★『親の目子の目世間の目もひとつおまけに教師の目　新版』（三省堂）

〔著者略歴〕

1946 年函館市生まれ。明治学院大学文学部卒業。拓殖大学国際開発学部教授を経て、東北福祉大学総合福祉学部教授。国際エデュケーター・放送ジャーナリストとしても活躍。

乗木新一郎（3 期）

〔著書〕

★『海洋化学　化学で海を解く』（共著・産業図書）『大気・水圏の地球科学』（共著・培風館）『環境負荷を予測する　モニタリングからモデリングへ』（共著・博友社）　★　『環境の化学分析』（共著　「海水」三共出版）

〔著者略歴〕

1946 年上磯郡木古内町生まれ。室蘭工業大学工学部卒業。北海道大学大学院水産学研究科博士課程修了。北海道大学大学院地球環境科学研究院教授。

羽二生邦彦（3 期）

〔著書〕

★『成長障害の診察室から　よくわかる低身長児の診療ガイド』（医学図書出版）

〔著者略歴〕

1946 年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。東北大学第二内科を経て、仙台市青葉区にて羽二生クリニック開業。内分泌疾患を専門とし、数多くの成長障害に悩む子供たちの治療にあたっている。

石黒健一（3 期）

〔著書〕

★『声無哀楽論　中国音楽美学入門』（訳・執筆「中国音楽美学入門－『声無哀楽論』をめぐって」シンフォニア）★　『中国の楽器』（訳　シンフォニア）

〔著者略歴〕

1947 年函館市生まれ。東京外国語大学中国語科卒業。東京大学文学部中国哲学科卒業。千葉県立高校英語科教員、のち国語科教員。笙を多忠麿氏に師事。

小林正佳（3 期）

〔著書〕

★『踊りと身体の回路』★『舞踊論の視角』（共に青弓社）★『北極で暮らした日々』★『クマとアメリカ・インディアンの暮らし』（訳・共に　どうぶつ社）★『都会の野生オウム観察記』（訳・築地書館）★『狼が語る ネバー・クライ・ウルフ』（訳　築地書館）

〔著者略歴〕

1946 年札幌市生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。東京大学大学院人文科学研究科(宗教学)博士課程修了。1970 年、日本民俗舞踊研究会に参加。1978 年、福井県織田町の五島哲氏に陶芸を師事。1981 年、織田町に開窯。1988 年から天理大学に奉職。1996～1998 年、トロント大学、セント・メリーズ大学訪問教授としてカナダに滞在。2000～2002 年、2010～2011 年、台湾中国文化大学に交換教授として滞在。現在、天理大学総合教育研究センター特別嘱託教授。

木村和範(4 期)

〔著書〕

★『数量的経済分析の基礎理論』（日本経済新聞社）★『標本調査法の生成と展開』（北海道大学図書刊行会）★『統計的推論とその応用』（梓出版社）★『社会の変化と統計情報』（共著・北海道大学出版会）★『ジニの統計理論』（共同文化社）★『ジニ係数の形成』（北海道大学出版会）

〔著者略歴〕

1948 年茅部郡森町生まれ。北海道大学経済学部卒業。北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。北海学園大学経済学部教授（同大学大学院教授兼担）。

金谷誠一〔松越文雄〕(4 期) 〔著者略歴〕

〔著書〕

★詩集『潮曇りの午後』（私家版）★、詩と短編集『向こうが晴れた』（私家版）　★『ひと休みの空』（思潮社）

〔著者略歴〕

1947 年松前郡福島町生まれ。北海道教育大学函館分校国語科卒業。青森県で中学校と肢体不自由養護学校に勤め、2008 年 3 月退職。青森県八戸市在住。函館の文芸誌「視線」（視線の会発行）に詩、短編小説を書き続けている。同誌に方言考・青森からみた「函館弁」を執筆。

宮下　憲(4 期)

〔著書〕

★『実践陸上競技 トラック編　ハードル』（大修館書店）★『ハードル』（ベース・ボール・マガジン社）

〔著者略歴〕

1947 年亀田町桔梗（現・函館市）生まれ。東京教育大学体育学部卒業。東京教育大学大学院体育学研究科修士課程修了。筑波大学人間総合科学研究科教授。 1971 年、1972 年日本選手権 110m ハードル優勝。

岡村州博(4 期)

〔著書〕

★『周産期のコツと落とし穴』（編集・中山書店）★『これならわかる産科学』（編集・南山堂）★『知れば知るほど、女性のからだ　まだ欲しくない。でも、いつか出産してみたい。』（婦人生活社）
〔著者略歴〕
1948 年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。東北大学大学院医学系研究科教授

西尾正道（4 期）
〔著書〕
★『放射線治療医の本音—がん患者 2 万人と向き合って』(NHK 出版) 『がん医療と放射線治療』★『今、本当に受けたいがん治療』(エム・イー振興協会)★『放射線健康障害の真実』『正直ながんのはなし』(旬報社)『被ばく列島　放射線医療と原子炉』(共著・〈角川 one テーマ 21〉角川学芸出版)★『がん医療の今　第 3 集』（共著・旬報社）　★『がん患者 3 万人と向き合った医師が語る　正直ながんのはなし　賢く生きるために知っておきたい放射線の光と影』（旬報社）
その他医学領域の専門学術著書・論文多数。
〔著者略歴〕
1947 年函館市生まれ。札幌医科大学卒業。国立札幌病院・北海道地方がんセンター放射線科、独立行政法人国立病院機構・北海道がんセンター放射線診療部長・院長を経て、現在は北海道がんセンター名誉院長、北海道医薬専門学校学校長。がんの放射線治療を通じて日本のがん医療の問題点を指摘し、改善するための医療を推進。

佐藤　光（5 期）
〔著書〕
★『リベラリズムの再構築』（書籍工房早山）『生命の産業』（編著・ナカニシヤ出版）『柳田国男の政治経済学　日本保守主義の源流を求めて』（世界思想社）『マイケル・ポランニー「暗黙知」と自由の哲学』（講談社選書メチエ）　★『カール・ポランニーの社会哲学』（ミネルヴァ書房）
〔著者略歴〕
1949 年伊達町（現・伊達市）生まれ。東京大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科博士課程中退。大阪市立大学大学院経済学研究科教授。2014 年より神戸山手大学総合社会学部経済・経営フィールド教授。専門は社会経済学、宗教経済
学。

宮崎隆次（5 期）
〔著書〕
★『連合政治Ⅰ』（共著・岩波書店）★『占領と改革』（共著・岩波書店★）『独裁と民主政治の社会的起源 1・2』(共訳・岩波書店）★　『戦争・復興・発展　昭和政治史における権力と構想』（共著 「開発計画・工業化と地方政治」 東京大学出版会）
〔著者略歴〕
1948 年函館市生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得満期退学。千葉大学法経学部教授。

栖原　暁（5 期）

〔著書〕

★『国際化の中の移民政策の課題』（共著・明石書店）★『アジア留学生の壁』（日本放送出版協会）

〔著者略歴〕

1948 年函館市生まれ。一橋大学社会学部卒業。東京大学大学院人文科学研究科修士課程中退。財団法人アジア学生文化協会留学生相談室長を経て、東京大学留学生センター教授。2011 年 7 月 20 日死去。

佐藤正知（5 期）

〔著書〕

★ 『エネルギーと環境』（共著　三共出版）★『図解雑学　エネルギー』（ナツメ社）

〔著者略歴〕

1949 年函館市生まれ。北海道大学理学部化学科卒業。北海道大学大学院理学研究科博士課程修了。九州大学工学部助手を経て、北海道大学大学院工学研究科教授。専門は原子力工学、放射性廃棄物管理。

曾我部正博（5 期）

〔著書〕

★『生物物理学とはなにか　未解決問題への挑戦』（編集　共立出版）★『バイオイメージング』（編集・共立出版）★『イオンチャンネル』（編集・共立出版）★『Towards Molecular Biophysics of Ion Channels』（共著・Elsevier）

〔著者略歴〕

1949 年上川郡比布町生まれ。大阪大学基礎工学部卒業。大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程中退。名古屋大学大学院医学系研究科教授。

金井一頼（5 期）

〔著書〕

★ 『経営戦略　新版　論理性・創造性・社会性の追及』（共著　有斐閣）　★『企業戦略の新しい考え』（産能大学）『ベンチャー企業経営論』（編著・有斐閣）『日本の産業クラスター戦略』（共著・有斐閣）

〔著者略歴〕

1949 年富良野市生まれ。神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了。北海道大学大学院経済学研究科教授を経て、大阪大学大学院経済学研究科教授。

齊藤裕志（5 期）

〔著書〕

★『江差八勝　資料集』（編集　　頼三樹三郎研究会）★『箱館戦争銘々伝　上』（共著・新人物往来社）★『江差齊藤家の歴史』（頼三樹三郎研究会）

〔著者略歴〕
1948 年函館市生まれ。岩手医科大学歯学部卒業。さいとう歯科診療室理事長。郷土史家。頼三樹三郎研究会会長。

佐々木伸（5 期）
〔著書〕
★『ホワイトハウスとメディア』（中公新書）★『ホワイトハウス報道官　レーガン・ブッシュ政権とメディア』（共訳・共同通信社）『レバノン戦争　アラファトの 90 日』（共同通信社）『ペルー日本大使公邸人質事件』（編著・共同通信社）
〔著者略歴〕
1948 年茅部郡森町生まれ。早稲田大学商学部卒業。共同通信社入社。ベイルート・ワシントン・カイロ特派員、編集局長、大阪支社長などを経て、現在、共同通信会館専務取締役。

大野　洋（5 期）
〔著書〕
★『知りながら害をなすな』（共著　ダイヤモンド社）★『マンホールの博物誌』（ダイヤモンド社）の編集・執筆に関わる。
〔著者略歴〕
1949 年札幌市生まれ。一橋大学経済学部卒業。大和証券、モルガン・スタンレー・アセットマネジメント投信執行役員などを経て現在、オーエスプラニング（株）代表、ダイヤモンド社企業情報編集部嘱託。

三嶋典東（5 期）
〔著書　作品集〕
★　『LINE　STYLE』（ブルース・インターアクションズ）★『雨　RAIN TRAIN』★『風　WIND MIND』★『光　LIGHT FIGHT』（共に岩崎美術社）★『オリーブの天使たち』（河出書房新社）★『線の贈りもの』（岩崎美術社）
〔著者略歴〕
1948 年瀬棚郡今金町生まれ。武蔵野美術大学造形学部商業デザイン専攻卒業。在学中より雑誌のデザインや書籍の装幀・装画を手がける。グラフィック・アーティスト。2005 年より 2009 年まで武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科教授。

辻　秀明（5 期）
〔著書〕
★『夢はすぐそこ　ママの力でマイホーム』（エル書房　発売・星雲社）
〔著者略歴〕
1949 年函館市生まれ。東洋大学経済学部卒業。大手建材メーカーや小売店を経て、函館市の辻木材㈱に入社。一級建築施工管理技士。来夢〔らいむ〕ハウス辻木材㈱社長として、住宅の価格やシステム

の解明を行い、良質なローコスト住宅を目指している。カンボジアで学校寄贈などの奉仕活動も行っている。

あがた森魚（本名・山縣森雄）（5期）

〔著書〕

★ 『あがた森魚読本』（音楽出版社）★『菫礼礼少年主義宣言』（新宿書房）★『モリオ・アガタ 1972～1989』（エディション・カイエ）★『愛は愛とて何になる』（共著　小学館）★雑誌「荷風！」（日本文芸社）に毎号エッセイを連載していました〔※函館ラ・サールも出てきます〕

〔著者略歴〕

1948 年留萌市生まれ。明治大学文学部中退。72 年、「赤色エレジー」にてデビュー。当時、アメリカのフォーク・ロックやヒッピームーブメントなどに強い影響を受けながらも、その影響下に留まらず、日本の大正や昭和のロマンティックな大衆文化を彷彿と
させる、幻想的で架空感に満ちたオリジナリティあふれる作品世界を音楽、映画を中心に創り出していった。月刊日記映画を毎月制作、上映会も行い、ライヴも全国で展開、デビュー40 周年を迎える 2012 年は、アルバムリリースや記念コンサートの開催など、音楽活動のみならず、映画製作や文筆活動、俳優として多岐にわたり、意欲的な活動が続いている。

森　武（5 期）

〔著書〕

★ 『さすらい』（長門出版社印刷部）★『桔梗』（「北海文学」1984 年）★ブログ『啄木スケッチ第 1 章～第 3 章』

〔著者略歴〕

1948 年二海郡八雲町落部生まれ。明治大学文学部ドイツ文学科卒業後、同大学日本文学科に学士入学。卒業後、北海道立高校の国語科教員となる。釧路商業高校・森高校・函館東高校を経て、札幌北高・大麻高校では教頭職。美深高校（校長）・函館東高校（最終校長）、函館東高校と函館北高校が統合した市立函館高校初代校長となる。退職後、函館市文学館館長。2021 年 12 月 18 日死去。

伊藤恒敏（6 期）

〔著書〕

★『暴かれた地域医療の実像　銚子市立総合病院衝撃の破綻ドキュメント　病院再建を模索した 500 日間の真実』（日本医療企画）★『東北大学地域医療シンポジウム講演録　医師不足と地域医療の崩壊　vol. 1「今、医学部に何ができるのか」 vol. 2「現場からの“提言”医療再生へのビジョン」』（共著・日本医療企画）『医療白書 2007 年度版』（共著・日本医療企画）★『マグネットホスピタル　命を守る病院づくり』（編著・日本医療企画）★『地域医療システム構築　東北大学医学部の取り組み』（共著・東北大学出版会）

〔著者略歴〕

1949 年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。東北大学大学院医学系研究科教授。専門は免疫学。

柿崎　繁（6 期）

〔著書〕

★ 『危機における現代経済の諸相』（編著　八朔社）★『現代経済と経済学』（共著・有斐閣）『グローバリゼーションと東アジア経済』（共著・大月書店）

〔著者略歴〕

1949 年白糠郡白糠町生まれ。早稲田大学教育学部卒業。法政大学大学院経済学研究科修了。明治大学商学部教授。

中井　洋（6 期）・田辺幸雄（6 期）

〔著書〕

★『“レセプト審査”の不可思議　EPO 訴訟から学ぶ不当審査との戦い方』（共著　医学通信社）★『透析患者のからだのしくみ』（メディカ出版）★『ケアに生かす「透析学」入門』（メディカ出版）『血液透析施行時のトラブルマニュアル』（共著・医学書院）など。★『透析療法事典　改訂第 2 版』（共著・医学書院）

〔中井　弘　略歴〕

1949 年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。透析医療に従事。医療法人社団田園腎クリニック院長（川崎市高津区二子）。

〔田辺幸雄　略歴〕

1950 年函館市生まれ。東北大学法学部卒業。江東総合法律事務所弁護士。

大沼邦博（6 期）

〔著書〕

★ 『労働団体法　上巻』（共著　青林書院）★『情報ネットワーク時代の法学入門』（共著・三省堂）『法、法哲学とナチズム』（共訳・みすず書房）★『現代日本の公共政策』（共著・関西大学経済・政治研究所）

〔著者略歴〕

1949 年北見市生まれ。京都大学法学部卒業。京都大学大学院法学研究科博士課程終了。関西大学法学部・同大学院法学研究科教授。専門は労働法。

外山茂樹（6 期）

〔著書〕

★『人へ街へ　外山茂樹発言集』（函館大妻学園）

〔著訳書〕

★『ケインズ経済学の再評価』（東洋経済新報社）★『シティバンク』（日本経済評論社）★『体系経済学辞典』（共著・東洋経済新報社）

〔著者略歴〕

1949 年函館市生まれ。横浜市立大学商学部卒業。一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了。函館大学商学部助教授を経て、函館大妻学園理事長・校長。2009 年 8 月 24 日死去。

林　純一（6 期）

〔著書〕

★『ミトコンドリア・ミステリー　驚くべき細胞小器官の働き』（講談社）　★『二層膜オルガネラの遺伝学』（共編・共立出版）★『ゲノムを医学する　阿蘇シンポジウム記録』（共著・南山堂）

〔著者略歴〕

1949 年函館市生まれ。東京学芸大学教育学部卒業。東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了。埼玉県立がんセンター研究所主任研究員を経て、現在、筑波大学大学院生命環境科学研究科教授。

紺井博則（6 期）

〔著書〕

★『グローバリゼーションと国際通貨』（共編　日本経済評論社）★『現代金融論』（共著・有斐閣）『金融グローバリゼーションの理論』（共著・大月書店）

〔著者略歴〕

1949 年函館市生まれ。北海道大学経済学部卒業。北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。北海道大学経済学部助手を経て、國學院大学経済学部教授。専門は金融論・国際金融論。

菊池正佳（6 期）

〔著書〕

★　『インターネット時代の数量経済分析法　基礎からニューフロンティアまで』（共著　多賀出版）

〔著者略歴〕

1950 年函館市生まれ。東北大学経済学部卒業。東北大学大学院経済研究科博士課程単位取得退学。東洋大学経済学部准教授。専門は計量経済学、数理統計学専攻。

谷藤悦史（7 期）

〔著書〕

★『現代メディアと政治　劇場社会のジャーナリズムと政治』（一藝社）★『リーディングス政治コミュニケーション』（編訳　一藝社）★『マス・コミュニケーションの理論』（共訳　敬文堂）★『誰が政治家になるのか』（共編　早稲田大学出版部）

〔著者略歴〕

1950 年釧路市生まれ。紋別郡遠軽町出身。早稲田大学政治経済学部卒業。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程修了。早稲田大学政治経済学術院教授。

手塚公登（7 期）

〔著書〕

★『経営学再入門　再チャレンジ！基礎から最新の理論まで』（共著 「経営組織論の構成と展開」

同友館）★『企業組織の経営学』（共著・早稲田大学出版部）など。
〔著者略歴〕
1950 年久遠郡大成町（現・せたな町）生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。一橋大学大学院商学研究科博士課程単位修得。成城大学社会イノベーション学部教授。

渡邊博史（7 期）
〔著書〕
写真集★『私は毎日、天使を見ている。』（窓社）★『FINDINGS』Photolucida）★『パラダイス・イデオロギー』（窓社）〈この作品でさがみはら写真賞を受賞〉『Suo Sarumawashi』（photo-eye Editions）★『ラブ・ポイント』（冬青社）『ARTIFACTS　日系人強制収容所からの「もの」』（Hibiku,Inc.）。★『ダムが崩れる日』（冬青社）
〔著者略歴〕
1951 年夕張市生まれ。札幌市出身。日本大学芸術学部写真学科卒業、ロサンゼルスに移住、テレビコマーシャル制作の仕事につく。1993 年、UCLA で MBA 修士号を修得。ファインアート写真家としてアメリカ西海岸を中心に仕事をしている。以来アメリカ、日本、ヨーロッパで多数の個展を行う。

靄日出朗（7 期）
〔著書〕
★『原価計算論　改訂版』（創成社）★『簿記の基礎　四訂版』（共著・森山書店）
〔著者略歴〕
1950 年士別市生まれ。明治大学商学部卒業。明治大学大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学。札幌大学経営学部教授・経営学部長。

黒川新二（7 期）
〔著書〕
★『自閉症とそだちの科学』（日本評論社）★『現代言語学批判』（共著・勁草書房）★『母性喪失』（共著・同朋舎出版）
〔著者略歴〕
1950 年旭川市生まれ。北海道大学医学部卒業。神戸大学医学部精神医学教室で児童精神医学を学ぶ。その後、兵庫県立こども病院、北海道立精神衛生センター、札幌市児童心療センター児童精神科部長を経て、2013 年 4 月より札幌市にて黒川メンタルクリニックを開院。児童精神科医療に従事している。専門は児童精神医学、自閉症医療。

佐藤　敬（7 期）
〔著書〕
★『脳卒中を知る―「アタリ」を予防するために』（共編著　弘前大学出版会）　★『血小板生物学』（執筆　メディカルレビュー社）　★『図説　生化学』（共訳　西村書店　★）『バイオサイコロジー　脳―心と行

動の神経科学』(監訳　西村書店　★)『洗脳の世界　だまされないためにマインドコントロールを科学する』(訳　西村書店)
〔著者略歴〕
1950 年深川市生まれ。弘前大学医学部卒業。弘前大学大学院医学研究科博士課程修了。弘前大学医学部助教授、教授。研究テーマは脳血管障害、神経科学、血管生物学。2011 年より 2020 年 3 月まで同大学長。2020 年 4 月より青森中央学院大学長に就任。

上野直樹(7 期)
〔著書〕
★ 『仕事の中での学習—状況論的アプローチ』(東京大学出版会)★『状況のインタフェース』(金子書房)★『インタラクション—人工知能と心』(共著　大修館書店)★『視点』(共著　東京大学出版会)★『文化と状況的学習—実践、言語、人工物へのアクセスのデザイン』(共著　凡人社)
〔著者略歴〕
1950 年生まれ。北見市出身。北海道大学教育学部卒業。東京大学大学院教育学研究科博士課程中退。1978 年から国立教育研究所(現・国立教育政策研究所)で研究活動を展開し、その後、2004 年からは武蔵工業大学(現・東京都市大学)環境情報学部教授。状況論(状況的認知)のリーダーの一人として、国内外で活動した認知科学者。2015 年死去。

和田拓司〔和田　司〕(8 期)
〔著書〕
★『吉本隆明「共同幻想論」を解体する－穴倉の欲望』(明石書店)★『「共同幻想論」批判ノート』(私家版)★『変貌する演奏神話　33 回転の精神史』(春秋社)★『農政学者　柳田国男』上・中・下(パブフル)。
〔著者略歴〕
1951 年函館市生まれ。東京外国語大学ロシア語科卒業。早稲田大学大学院文学研究科(ロシア文学)博士課程中退。翻訳家。函館市在住。

金谷武洋(8 期)
〔著書〕
★『日本語には主語はいらない　百年の誤謬を正す』(講談社)★『英語にも主語はなかった　日本語文法から言語千年史へ』(講談社)★『主語を抹殺した男　評伝三上章』(講談社)★『日本語文法の謎を解く』★『日本語は亡びない』(共に筑摩書房〈ちくま新書〉)★『日本語は敬語があって主語がない 「地上」の視点の日本文化論』(光文社〈光文社新書〉)『日本語が世界を平和にするこれだけの理由』(飛鳥新社)
〔著者略歴〕
1951 年北見市生まれ。東京大学教養学部卒業。モントリオール大学で博士号(言語学)取得。カナダ放送協会国際局などを経て、元モントリオール大学東アジア研究所日本語科科長。

牧田善二（8 期）

〔著書〕

★『糖尿病専門医にまかせなさい』（文藝春秋）★『生涯をかけるなら！糖尿病専門外来クリニック』（中山書店）『糖尿病で死ぬ人、生きる人』（〈文春新書〉文藝春秋）★『うどん一玉は角砂糖 14 個分』★『一生健康！糖質オフ！が分かる本』★『糖質オフ ダイエットレシピ』★『糖尿病にならないための本』（宝島社）★『糖尿病の人の糖質制限食レシピ』（成美堂出版）★『糖質量ハンドブック』★『老けない人はこれを食べている』（新星出版社）★『糖尿病は「生もの」を食べなさい』（毎日新聞社）★『牧田式糖質オフ健康ダイエット』（主婦と生活社）★『人間ドックの 9 割は間違い』（幻冬舎）★『医者が教える食事術 最強の教科書』（ダイヤモンド社）★『糖質中毒 痩せられない本当の理由』（文春新書）

〔著者略歴〕

1951 年利尻島鬼脇（現・利尻富士町）生まれ。苫小牧市出身。北海道大学医学部卒業。久留米大学医学部教授を経て、糖尿病をはじめとする生活習慣病治療のための「AGE内科クリニック」を東京・銀座に開設。豊富な臨床経験と高度な研究実績を生かす専門治療を実践中。糖尿病指導医。

新谷恭明（8 期）

〔著書〕

★『学校は軍隊に似ている 学校文化史のささやき』（海鳥社出版 福岡県人権研究所） ★『尋常中学校の成立』（九州大学出版会）★『大学とはなにか』（海鳥社・共著）★『現代の教育と学校―その基礎と展開』（川島書店・共著）★『なぜ中学生は煙草を吸ってはいけないの』★『校則なんて大嫌い！学校文化史のおきみやげ』（福岡県人権研究所）★歌集『林檎の感触』（櫂歌書房）★『哲学せむか河のほとりに』(青磁社)〔筆名・新谷休呆〕

〔著者略歴〕

1951 年小樽市生まれ。三笠市育ち。立教大学大学院文学研究科博士課程教育学専攻単位取得退学。元九州大学大学院人間環境学研究院教授。西南女学院大学保健福祉学部看護学科教授を 2022 年 3 月退職。現在は公益社団法人福岡県人権研究所理事長。福岡県宗像市在住。

〔著書〕

太田 清（8 期）

〔著書〕

★『データで読む生活の豊かさ』（東洋経済新報社）★『景気予測の考え方と実際』（有斐閣）『入門パネルデータによる経済分析』（共著・日本評論社）★『女性たちの平成不況 デフレで働き方・暮らしはどう変わったか』（共編・日本経済新聞社）

〔著者略歴〕

1952 年室蘭市生まれ。京都大学経済学部卒業。経済企画庁、内閣府、政策研究大学院教授を経て、日本総合研究所調査部主席研究員。2010 年 2 月 21 日死去。

小田原修（8 期）

〔著書〕

★『軌道上実験概論　宇宙・流れ・生命』（監修　海文堂出版）★『なるほど宇宙』（監修・宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部）★『ミールメチティ　宇宙紀行』（執筆／監修・NPO 法人プロサップ）
〔著者略歴〕
1951 年函館市生まれ。東京工業大学工学部卒業。東京工業大学院理工学研究科博士課程修了。通商産業省工業技術院主任研究官、東京工業大学助教授、宇宙開発事業団客員開部員を経て、東京工業大学大学院総合理工学研究科教授、東京工業大学名誉教授。「宇宙利用の文化」の発展と人材育成に取組む NPO 法人プロサップ代表理事。

岡田信弘(8 期)
〔著書〕
★『憲法のエチュード』（編著　八千代出版）★『日本国憲法解釈の再検討』（共著・有斐閣）『政治過程と法』（共著・岩波書店）
〔著者略歴〕
1951 年紋別郡遠軽町生まれ。北海道大学法学部卒業。北海道大学大学院法学研究科公法専攻博士課程単位修得退学。明治学院大学法学部教授を経て、元北海道大学大学院法学研究科教授。現在は北海学園大学法務研究科教授。

鎌田広己（8 期）
〔著書〕
★『太宰治「走れメロス」作品論集』（共著　「走れメロス」試論　クレス出版）★『近世と近代の通廊十九世紀の日本文学』（共著・双文社出版）『淀川の文化と文学』（共著・和泉出版）
〔著者略歴〕
1952 年留萌市生まれ。旭川市出身。立命館大学法学部卒業。神戸大学大学院文化学研究科文化構造専攻途中退学。元大阪成蹊短期大学教授。

澤田賢一（8 期）
〔著書〕
★『症状から診る内科疾患』（共編　メジカルビュー社）
〔著者略歴〕
1952 年美唄市生まれ。札幌市出身。北海道大学医学部卒業。秋田大学医学部内科学講座、血液・腎臓内科学分野教授を経て、同大医学部長、同大学長に就任。現在は医療法人北武会　美しが丘病院（札幌）勤務。

瀬戸正昭（8 期）
〔著書〕
★『詩集　音楽』（林檎屋）★『野菜小詩集』（ライフ出版社）★『詩集　花の国』★『宿世』（林檎屋）
〔著者略歴〕
1951 年岩見沢市生まれ。早稲田大学文芸科卒業。札幌市の広告会社「朝日アグリ」代表取締役。詩

誌「饗宴」主宰。北海道詩人協会理事。

中山卓三（8 期）
〔著書〕
★『詩集　凍える坩堝』（ライフ出版社）
〔著者略歴〕
1951 年室蘭市生まれ。工房独活(蝋型鋳造彫刻工房)主宰。「独活」の名は高校時代のガリ版雑誌から命名。

菊地裕太郎（8 期）
〔著書〕
★ 『不動産紛争解決の手引』（編著　新日本法規）★『判例・信用供与取引法』（共著・経済法令研究会）★『銀行実務判例総覧』（共著・経済法令研究会）★『企業責任』（共著・新日本法規）
〔著者略歴〕
1951 年伊達町（現・伊達市）生まれ。東京大学法学部卒業。菊地綜合法律事務所所長弁護士。日弁連会長（2018 年度、2019 年度）。日本弁護士政治連盟理事長（2021 年～2024 年）。

笹浪恒弘（8 期）
〔著書〕
★『条解民事再生法　第 2 版』（共著　弘文堂）★『新版破産法〈新・裁判実務体系 28〉』（共著・青林書院）
〔著者略歴〕
1952 年室蘭市生まれ。中央大学法学部卒業。笹浪総合法律事務所代表弁護士。

水内英充（8 期）
〔著書〕
★『最新不妊治療の 142 のポイント　体外受精から東洋医学・アロマセラピーまで』（海苑社）★『取り扱い規約に沿った腫瘍鑑別診断アトラス・子宮体部』（共著・文光堂）★『図説産婦人科 VIEW　薬物療法　最新の癌化学療法を中心に』（共著・メジカルビュー社）
〔著者略歴〕
1951 年旭川市生まれ。札幌医科大学卒業。札幌医科大学大学院修了。同大学産婦人科講師を経て、旭川市にて「みずうち産科婦人科」を継承。現在、札幌医科大学産婦人科の非常勤講師も務める。

大月康義（8 期）
〔著書〕
★『語る記憶－解離と語りの文化精神医学』（金剛出版）★『語りの底に―臨床文化精神医学』
〔訳書〕
★『PTSD の医療人類学』（みすず書房）★『医療・合理性・経験　バイロン・グッドの人類学講義』（誠信

書房）
〔著者略歴〕
1952 年旭川市生まれ。北海道大学理学部数学科・札幌医科大学卒業。北見赤十字病院などを経て、現在、心療内科「大月クリニック」院長。岩見沢市在住。

阪口和彦（8 期）
〔著書〕
★『メモリーズ・オブ・ユー　いくつかの音楽をそえて』（開発社　）
〔著者略歴〕
1952 年小樽市生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。東京での大学時代はジャズ漬けの日々。住友化学工業株式会社(現・住友化学株式会社)入社。大阪本社、東京本社にて経理、財務、営業職を経験。多くの趣味に没頭し、ワインや食については素人ながらこだわりももつ。2012 年、同社定年退職後、公益社団法人日本食品衛生学会事務局を経て㈱阪口英語塾。

芳野恭郎〔芳野藤丸〕（8 期）
〔著書〕
★『芳野藤丸自伝　Lonely Man In The Bad City』（DU BOOKS）
〔著者略歴〕
1951 年函館市生まれ。ギタリスト/ヴォーカリスト/作・編曲家/プロデューサー。大学時代にロックバンド“WISH”を結成して米軍基地やディスコなどでセミプロ活動を開始。その後、つのだひろに見い出され、キャプテンひろ&スペースバンドに加入し、脱退後、CM 曲のレコーディング・プレイヤーを経てスタジオ・ミュージシャンとなる。以降、1 万曲を超えるレコーディング・セッションに参加。一方、西城秀樹のバックバンドとして藤丸バンドを結成。

岩田　徹（8 期）
〔著書〕
★　『「一万円選書」でつながる架け橋　北海道の小さな町の本屋・いわた書店』（竹書房）★『一万円選書: 北国の小さな本屋が起こした奇跡の物語』（ポプラ社）
〔著者略歴〕
1952 年美唄市生まれ。砂川市にある「いわた書店」の二代目店主。2007 年、希望者の詳細なカルテ(年齢、家族構成、読書歴や人となりがわかるアンケート)を基に選書し、一万円分の本を送るサービス「一万円選書」をスタート。2014 年にその選書サービスがブレイクし、全国から希望者が殺到。現在は申し込み受け付けを年に 7 日間だけ設け、抽選による方法を取っている。一人でも多くの人に本の面白さ、読書の楽しさを知ってもらうため、精力的に活動している。

田口貴士（8 期）
〔著書〕
★『試験管からプラントまで―プロセス開発の魅力　CREATIVE CHEMICAL ENGINEERING

COURSE2』（共著　培風館）
〔著者略歴〕
1951 年中川郡池田町生まれ。東北大学薬学部卒業、東北大学大学院薬学研究科修了、薬学修士。旭硝子株式会社（現・AGC）入社。工場、研究所にて医薬品、フッ素化学製品、ほかの開発・製造エンジニアを経験。

赤松　晃（9 期）
〔著書〕
★『国際租税原則と日本の国際租税法　国際的事業活動と独立企業原則を中心に』（税務研究会出版局）★『国際課税の実務と理論　グローバル・エコノミーと租税法』★『国際課税の実務と理論　第 4 版』（税務研究会出版局）
〔著者略歴〕
1952 年釧路市生まれ。南山大学経営学部卒業。一橋大学大学院法学研究科博士課程修了（法学博士）。国税庁勤務を経て、ホワイト＆ケース税理士法人代表社員。一橋大学法科大学院（実践税法）・慶應義塾大学法学部（国際租税法）非常勤講師。移転価格税制、国際 M&A、タックス・ヘイブン対策税制、外国税額控除、租税条約等の国際課税問題を専門とする税理士。

吉田晃敏（9 期）
〔著書〕
★『格差なき医療　日本中が世界最高水準の治療が受けられるようになる日』（講談社）★『眼底疾患アトラス』（編著・金原出版）★『現代の眼科学　改訂第 9 版』（共著・金原出版）★『網膜・硝子体　すぐ役に立つ眼科診療の知識』（編集・金原出版）
〔著者略歴〕
1952 年札幌市生まれ。旭川医科大学医学部卒業。旭川医科大学眼科講座教授。2007 年より 2022 年 3 月まで旭川医科大学学長。オンデマンド型ネットワーク制御技術に関する研究開発プロジェクトリーダー。糖尿病網膜症等の眼科手術、遠隔医療等の研究に従事する。主な

斉藤享治（9 期）
〔著書〕
★『日本の扇状地』（古今書院）★『世界の扇状地』（古今書院）
〔著者略歴〕
1952 年函館市生まれ。東京大学理学部卒業。東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得。北海学園大学教養部教授を経て、埼玉大学教育学部教授。

丸藤　哲（9 期）
〔著書〕
★『臨床研修　救急一直線』（編集　南江堂）★『麻酔・救急医療における薬のハンドブック』（共著・南江堂）★『DIC治療の新たなストラテジー』（先端医学社）

〔著者略歴〕
1952 年帯広市生まれ。北海道大学医学部卒業。北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野教授。主な

諸戸樹一（9 期）
〔著書〕
★『ロレンス研究　アロンの杖』（共著 「逆転の構図　アロンの杖と聖書の問題」 朝日出版社）★『ロレンス研究　カンガルー』（共著　朝日出版社）
〔著者略歴〕
1952 年北海道生まれ。立命館大学文学部卒業。立命館大学大学院文学研究科修士課程英米文学専攻修了。京都先端科学大学（京都学園大学から改称）法学部教授・経済経営学部特任教授。専門は19～20 世紀イギリス文学。

吉川和宏（9 期）
〔著書〕
★『憲法〈1〉 統治機構』（不磨書房）★『憲法　第 2 版』（共著・青林書院）★『事例で学ぶ憲法』（共著・青林書院）
〔著者略歴〕
1953 年芦別市生まれ。上智大学法学部卒業。上智大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。東海大学法学部教授。

齊藤朋久〔齊藤日軌〕（9 期）
〔著書〕
★『日蓮宗の戒壇、その現代的意義』（国書刊行会★『石佛庵記Ⅲ』（石乃美社）★『スピリチュアル・アルバム 我が心の富良野と佐野に遊ぶ仏と不思議な石たち』（国書刊行会）★『みんなで語り合った「町づくり談義」 富良野創』★『幸福とは何か、幸せになるための「幸福論」』 ほか、論文多数。
〔著者略歴〕
1953 年富良野市生まれ。立正大学仏教学部卒業。北海道大学大学院インド哲学科研究生中退。日蓮宗本山妙顯寺（佐野市）、第 49 世貫首日蓮宗本要寺（富良野市）代務住職。

松久三四彦（9 期）
〔著書〕
★『民法Ⅰ　総則　第 4 版』（共著　有斐閣）★『民法学と比較法学の諸相』（共著・信山社出版）『日本民法学の形成と課題　下』（共著・有斐閣）★『時効制度の構造と解釈』（有斐閣）★『時効判例の研究』（信山社）
〔著者略歴〕
1952 年河西郡芽室町生まれ。北海道大学法学部卒業。北海道大学法学部教授、北海道大学大学院法学研究科教授を経て、現在は北海学園大学院法務研究科長、北海道大学名誉教授、弁護士

黒坂裕之（9 期）★

〔著書〕

★『気候環境誌』（私家版）★『生活の中の環境問題』（編著・梓出版社）★『地球環境へのアプローチ』（共著・原書房）★『大気環境測定法』（私家版）

〔著者略歴〕

1952 年函館市生まれ。東北大学理学部地理学科卒業。筑波大学大学院地球科学研究科博士課程修了。文教大学教育学部教授。1996 年 7 月死去。

山手　章（9 期）

〔著書〕

★『資産自己査定償却と引当　早期是正措置導入後の金融機関経営』（金融財政事情研究会）

〔著者略歴〕

1952 年白老郡白老町生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。公認会計士。「プライスウォーターハウスクーパース」パートナー。あらた監査法人代表社員、業務担当執行役。㈱あらたサステナビリティ認証機構社長。

幕田英雄（9 期）

〔著書〕

★『実例中心　捜査法解説－捜査手続から証拠法・公判手続入門まで』（東京法令出版）★『捜査実例中心　刑法総論解説』★『実例中心　捜査法解説』（共に東京法令出版）★『公取委実務から考える独占禁止法』（商事法務）

〔著者略歴〕

1953 年虻田郡倶知安町生まれ。東京大学法学部卒業。1978 年、検事任官。長年にわたり検事として捜査、公判の現場と指揮に携わり、新潟地方検察庁検事正、千葉地方検察庁検事正、最高検察庁刑事部長などを経て、2012 年 7 月より公正取引委員会委員。2017 年 9 月より長島・大野・常松法律事務所顧問。

小畑徳彦（9 期）

〔著書〕

★『起業・経営 Navigation－戦略・実務・法令解説』（共著　第一法規株式会社）★『広告表示規制法』（執筆・青林書院）★『競争政策と合弁事業　国際合併と競争政策』★『競争政策と合弁事業　国際合併と競争政策』（共訳・商事法務研究会）

〔著者略歴〕

1953 年函館市生まれ。東京大学法学部卒業。公正取引委員会事務総局審査局特別審査部第一特別審査長、同中部事務所長等を経て、流通科学大学商学部教授。専門は独占禁止法・景品表示法などの経済法。2012 年 5 月、「世界一受けたい授業」（日本テレビ）に出演し、話題を呼ぶ。

森谷　賢（9 期）

〔著書〕

★『産業廃棄物と資源循環　改訂新版』（環境新聞社）

〔概要〕

事業活動からの産業廃棄物は可能な限り資源循環することが我が国の循環型社会に欠かせない。その際には、長期的課題の気候変動に対処するため脱炭素化は避けられない。このような要請の下、産業廃棄物処理会社の経営者はもちろん、処理現場で業務を管理監督する者、そして資源循環に関心を持つ方々が必要とする知識（法令・技術）や情報を提供し今後の方向性を示唆する。

〔著者略歴〕

1952 年函館市生まれ。京都大学理学部卒業。京都大学大学院理学研究科修士課程修了。1977 年 4 月環境庁（現、環境省）に入庁。以後 2013 年 3 月に定年退職するまで、本省（霞が関）のみならず、OECD（パリ）、滋賀県、神奈川県、NEDO（川崎）などに勤務。2013 年 6 月から 2022 年 10 月まで（公社）全国産業資源循環連合会専務理事。2023 年 11 月から株式会社タケエイ社外取締役。

當作靖彦（10 期）

〔著書〕

★『NIPPON3.0 の処方箋』（講談社）★『日本語教師の専門能力開発　アメリカの現状と日本への提言』（編著・凡人社）★『日本語教師の成長と自己研修』（共著・凡人社）★『音声教育の実践』（監修・くろしお出版）★『Yookoso!　vols. 1 and 2 Third Edition』（McGraw-Hill Companies）

〔著者略歴〕

1953 年函館市生まれ。カリフォルニア大学サンディエゴ校言語学大学院博士課程修了。言語学博士。カリフォルニア大学サンディエゴ校教授。専門は第二言語習得理論、外国語教授法、言語能力評価理論。アメリカで長年にわたり日本語教育に携わる。

玉山和夫（10 期）

〔著書〕

★『金融経済と証券投資　入門から使える標準理論まで』（中西出版）★『投資戦略の基礎』（東洋経済新報社）★『10 分で分かる　暮らしの経済』（FM ノースウェーブ）★『日米バブルの金融論』★『株式投資事始め』★『新・金融経済と証券投資』（共に中西出版）

〔著者略歴〕

1953 年空知郡奈井江町生まれ。一橋大学経済学部卒業。野村総合研究所入社後、安田火災海上保険などで株式・資産運用に従事。札幌国際大学人文・社会学部教授、北海道情報大学経営情報学部教授を経て、札幌学院経営学部教授。専門は金融論・経済事情。

山口　卓（10 期）

〔著書〕

★『非接触ICカードの技術と応用』（共著 「RFIDチップ」 シーエムシー出版）
〔著者略歴〕
1953 年横浜市鶴見区生まれ。早稲田大学理工学部電子通信学科卒業。日本ビクター（㈱）、シーメンス㈱ICカード部、SMCマイクロシステムズジャパン㈱営業本部などを経て、現在、麹町特許事務所にて勤務。

郡　修徳（10 期）
〔著書〕
★『わかりやすい輸液製剤』（共編著　廣川書店）
〔著者略歴〕
1953 年十勝郡浦幌町生まれ。北海道大学薬学部卒業。北海道大学大学院薬学研究科修士課程修了。博士（薬学）。北海道薬科大学薬学部臨床薬学系臨床薬剤学分野教授。研究分野は物理系薬学・医療系薬学。

筒井文彦〔女（め） 池文彦〕（10 期）
〔著書〕
★『ツバーン星へ帰る』（文芸社　文庫）★『アゲハチョウ』（新風舎）。
〔著者略歴〕
1953 年函館市生まれ。北海道立衛生学院臨床検査技師科卒業。札幌市在住。臨床検査技師。文学同人「昴の会」メンバー。「日刊サッポロ」に連載経験あり。

内田武之（11 期）
〔著書〕
★『日米・小売新勢力のコンセプト&デザイン　店舗デザインは業態表現が大原則』（産能大学出版）★『行きやすい買いやすい店舗　ホスピタリティを実現する』（商業界）★『米国カテゴリーキラーの販売革命　命　成功する店舗・売場の新業態表現』（産能大学出版）★『店舗のパワーデザイン』（日経 BP 社）
〔著者略歴〕
1954 年　北海道苫小牧市生まれ。
1980 年　日大理工学部建築学科卒業。一級建築士
1985 年　(株)エクサス設立
1986 年　(株)エクサス研究所　設立
現在に至る
エクサス（EXAS）は「イメージを科学する」をコーポレートステートメントとし、デザインが潜在的に持つ可能性を駆使して知識や概念を空間やカタチに昇華し、企業に真の価値をもたらす事を使命とする。

畑山義人（11 期）
〔著書〕

★『景観用語事典』（共著　彰国社）★『橋の景観デザインを考える』（共著・技報堂出版）★『Bridges』（共編・鹿島出版会）
〔著者略歴〕
1954 年茅部郡森町生まれ。東京理科大学理工学部土木工学科卒業。清水建設にて、主に海洋構造物と橋梁の設計および技術開発業務に従事。景観デザイングループを立ち上げ、橋梁・街路・水道施設など様々なインフラの構造デザインを手掛けてきた。現在、札幌市の㈱ドーコンにて、橋梁と道路の計画・設計と景観デザイン業務全般に携わる。東京工業大学非常勤講師。

廣川博之（11 期）
〔著書〕
★『眼科臨床メモ　改訂第 3 版』（共著 「黄斑部疾患」 南江堂）★『網膜・硝子体　すぐ役に立つ眼科診療の知識』（共著・金原出版）★『眼科当直医・救急ガイド』（共著・文光社）
〔著者略歴〕
1954 年函館市生まれ。旭川医科大学卒業。旭川医科大学附属病院経営企画部教授。専門は医療情報学・眼科学。

樋渡　有（11 期）
〔著書〕
★『続続　私の好きな曲』（日比谷出版）1650 円　2025 年 3 月
〔概要〕
著者が半世紀にわたって愛好してきたクラシック音楽から好きな曲を 73 曲選び、その曲との出会い、想い出や感想、音盤との付き合いや遍歴などについて自由に綴ったエッセイ集。2023 年 9 月に上梓した前著『私の好きな曲』および 2024 年 7 月に上梓した『続　私の好きな曲』の続篇。
〔その他の著書〕
★『私の好きな曲』（日比谷出版）★『続　私の好きな曲』（日比谷出版）
〔著者略歴〕
1954 年福岡県生、幼少時に苫小牧市に移転。横浜国立大学工学部卒業、北海道大学大学院理学研究科修了。（株）東芝で半導体設計の研究・開発に従事、また（株）半導体理工学研究センターに出向して産学の共同研究の企画・管理業務に従事し 2016 年退職。専門領域は、集積回路のコンピュータを用いた自動設計技術の研究・開発。

藤井眞吾（11 期）
〔編集・楽譜〕
★『ギター二重奏のためのサティ作品集』（現代ギター社）
〔作曲作品（楽譜）〕
★『紺碧の舞曲』『パッサカリア』★『天使の協奏曲』★『Air』（フォレストヒル出版）
〔CD〕
★『夜のスケッチ』★『黒いデカメロン』★『天使の協奏曲』

〔著者略歴〕
1954 年上磯郡上磯町（現・北斗市）生まれ。10 歳よりギターを始める。京都大学農学部卒業。京都大学大学院農学研究科博士課程を中退し、スペインに留学。「ルイス・コーレマン国際音楽コンクール」でコーレマン賞を受賞。国内各地でソロ・リサイタル。近年は作曲活動を活発に行う。

高橋　智（11 期）
〔著書〕
★『テキスト　特別ニーズ教育』（編集　ミネルヴァ書房）★『わが国における「精神薄弱」概念の歴史的研究』（共著）★『城戸幡太郎と日本の障害者教育科学』（共著・多賀出版）★『講座・転換期の障害児教育　全 11 巻』（編著・三友社）★『特別支援教育大事典』（編著・旬報社）★『史料・日本近代と「弱者」第 1 集　全 10 巻』（編著・緑蔭書房）『障害百科事典　全 5 巻』（訳編・丸善出版）ほか多数。
〔著者略歴〕
1954 年岩見沢市生まれ。早稲田大学第一文学部教育学専攻卒業。東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程教育学専攻修了。博士（教育学）。東京学芸大学総合教育科学系教授。日本特殊教育学会副理事長。専門分野は特別ニーズ教育。

中富清和（12 期）
〔著書〕
★『無と愛の哲学』（北樹出版）
〔著者略歴〕
1955 年函館市生まれ。明治大学政治経済学部政治学科卒業。千葉県立八街高等学校教諭。

今野　敏（12 期）
〔著書〕
★『隠蔽捜査』★『果断　隠蔽捜査 2』（新潮社）で第 61 回日本推理作家協会賞「長編および連作短編部門」・第 21 回山本周五郎賞ダブル受賞。『隠蔽捜査』シリーズで第 2 回吉川英治文庫賞を受賞。その他の著書に★『同期』★『欠落』★『曙光の街』（講談社）★『花水木』★『夕暴雨』★『烈日』★『晩夏』（角川春樹事務所）★『曙光の街』★『凍土の密約』★『レッド』（文藝春秋）★『膠着』★『ペトロ』★『慎治』（中央公論新社）★『確証』『アキハバラ』（双葉社）★『警視庁FC』（毎日新聞社）★『熱波』（角川書店）★『義珍の拳』『クローズアップ』（集英社）★『防波堤』（徳間書店）★『TOKAGE』★『天網』（朝日新聞出版）★『任侠学校』★『任侠病院』（実業之日本社）『宰相　隠蔽捜査 5』（新潮社）★『石礫　機捜 235』『無明　警視庁強行犯係・樋口顕★』『[新装版]ビート　警視庁強行犯係・樋口顕』『昇華　機捜 235』『秋麗　東京湾臨海署安積班』など。
〔著者略歴〕
1955 年三笠市生まれ。上智大学文学部新聞学科在学中の 78 年に『怪物が街にやってくる』で問題小説新人賞を受賞。レコード会社勤務を経て、執筆に専念する。さまざまなタイプのエンターテインメントを手がけるが、警察小説の書き手としての評価も高い。2013 年より日本推理作家協会理事長に就任。

橋本和仁（12 期）

〔著書〕

★『光触媒のしくみ』（共著　日本実業出版社）★『光クリーン革命』（共著・シーエムシー）★『光触媒応用技術』（共著・東京図書）★『室内対応型光触媒への挑戦』（共著・工業調査会）★『材料概論』（共著・岩波書店）

〔著者略歴〕

1955 年空知郡南幌町生まれ。東京大学理学部卒業。東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。東京大学大学院工学系研究科教授。

加藤智章（12 期）

〔著書〕

★『社会保障法　第 3 版』（共著　有斐閣）★『医療保険と年金保険　フランス社会保障制度における自律と平等』（共著・北海道大学図書刊行会）★『高齢者の法律相談』（共著・有斐閣）など。

〔著者略歴〕

1956 年札幌市生まれ。小樽商科大学商学部卒業。北海道大学大学院法学研究科民事法専攻博士課程単位取得満期退学。新潟大学大学院実務法学研究科教授。

佐藤鉄男（12 期）

〔著書〕

★『ゼミナール破産法』（法学書院）★『取締役倒産責任論』（信山社）★『民事手続法入門』（共著　有斐閣）

〔著者略歴〕

1955 年常呂郡留辺蘂町（現・北見市）生まれ。中央大学法学部卒業。東京大学大学院法学政治学研究科博士後期課程修了。同志社法学部教授を経て、中央大学法科大学院教授。

野村　伸〔のむらしんぼ〕（12 期）

〔作品〕

★『つるピカハゲ丸ベストセレクション　上・下』（小学館）★『とどろけ！一番』（小学館）『ラチェット＆クランク』（小学館）★『トップ』（小学館・原作）

〔著者略歴〕

1955 年茅部郡南茅部町（現・函館市）生まれ。立教大学文学部仏文科中退。弘兼憲史のアシスタントをしていた。『つるピカハゲ丸』は漫画雑誌「コロコロコミック」に 1985～95 年に連載された。コミックス全 25 巻。第 33 回小学館漫画賞児童部門受賞作。テレビ朝日系でアニメ化されている

鈴木基紀（12 期）

〔著書〕

★『作家の家』（共著　平凡社）★『作家の住まい』（共著　平凡社）。

〔著者略歴〕

1955 年旭川市生まれ、勇払原野育ち。早稲田大学理工学部建築学科卒業後、南欧・北アフリカ放浪。建築家・鈴木恂に 6 年間師事し、GA ギャラリー、桂離宮作図などを担当、1986 年独立し、翌年、設計事務所・(有)空間設計社を設立。独立後の主な仕事として TWINZ(1990 年)、IZVI (1992～2011 年)、IZCO (1994 年) 、UMI(1994 年)、ACA(2010 年)など。

佐藤貢悦（13 期）

〔著書〕

★『古代中国天命思想の展開』（学文社）★『人間の文化と宗教』（共著・北樹出版）★『「気」の比較文化　中国・韓国・日本』（共著・昭和堂　※ハングルの翻訳語版も寄贈されました）★『中国的なものの見方・考え方』（角川学芸出版）★『日中韓日用漢字通用辞典』（共著・勉誠出版）★『日中韓マナー・慣習基本事典』（13 期・斎藤智文さんと共著・勉誠出版）

〔著者略歴〕

1956 年網走郡美幌町生まれ。筑波大学第二群比較文化学類現代思想学卒業。筑波大学大学院哲学・思想研究科倫理学博士課程単位取得満期退学。筑波大学大学院人文社会科学研究科教授。

大久保雅一（13 期）

〔著書〕

★『ピアレビュー　高品質ソフトウェア開発のために』（監訳　日経 BP ｿﾌﾄﾌﾟﾚｽ）

〔著者略歴〕

1957 年兵庫県姫路市生まれ。東北大学工学部金属工学科卒業。東北大学大学院工学研究科博士課程前期課程修了。工学修士。出光エンジニアリング㈱勤務。鉄鋼技術開発、情報システム構築、品質管理、LSI 設計、プラントエンジニアリングなどに従事。第一種情報処理技術者。

池田昌幸（13 期）

〔著書〕

★『金融経済学の基礎』（朝倉書店）★『オプション評価と企業金融の理論』（東京大学出版会）★『金融工学と証券市場の計量分析 2006』（共編・東洋経済新報社）

〔著者略歴〕

1955 年亀田郡七飯町生まれ。東京大学経済学部卒業。マサチューセッツ工科大学大学院修士課程修了。東京大学大学
院経済学研究科博士課程中退。一橋大学教授を経て、現在、早稲田大学院ファイナンス研究科教授。

小助川貞次（13 期）

〔著書〕

★『高山寺古訓点資料　第四』（共著　東京大学出版会）★『高山寺経蔵典籍文書目録　完結篇』（共著　汲古書院）★『国語学論集　築島裕博士傘寿記念』（共著　汲古書院）

〔著者略歴〕

1956 年秋田県本荘市生まれ。北海道大学文学部卒業。北海道大学大学院文学研究科国文学修士課程修了。富山大学人文学部教授。専門は日本語学・訓点語学。

斎藤智文（13 期）

〔著書〕

★『働きがいのある会社　日本におけるベスト 25』（労務行政）★『世界でいちばん会社が嫌いな日本人』（日本経済新聞出版社）★『日本人事 NIPPON JINJI』（共著・労務行政）★『最高の職場』（共訳・ミネルヴァ書房）★『日中韓マナー・慣習基本事典』（13 期・佐藤貢悦さんと共著　勉誠出版）。

〔著者略歴〕

1957 年茅部郡森町生まれ。中央大学商学部経営学科卒業。社団法人日本能率協会コンサルティング、Great Place to Work Institute Japan などを経て、2008 年より㈱組織と働きがい研究所所長。

藤井敬吾（13 期）

〔作曲作品（楽譜）〕

★『羽衣伝説　山入端博の旋律に基づく』（楽譜　現代ギター社）★『組曲“怒りの日”』★『中世組曲　藤井敬吾ギター作品集』（現代ギター社）★『マンドリンとギターのためのソナタ』（ドイツ・トレッケル社）★『Overture 2010』（ミューズ音楽館）

〔CD〕

★『グラナダの花』★『地中海協奏曲』（共演）

〔著者略歴〕

1956 年上磯郡上磯町（現・北斗市）生まれ。7 才よりギターを始める。三重大学農学部卒業。イギリスとスペインに留学。85 年、「ラミレス・コンクール」と「オレンセ国際コンクール」に連続して第１位となる。国内外で演奏のほか、作曲活動を活発に行う。

長谷川博雅（13 期）

〔著書〕

★口腔の病態を診る』（デンタルダイヤモンド社）

〔著者略歴〕

1982 年　松本歯科大学卒・松本歯科大学口腔病理学講座入局

1995 年　日本大学医学部第一病理学教室　助手

1997 年　松本歯科大学口腔病理学講師

2000 年　松本歯科大学口腔病理学講座　教授

2008 年　松本歯科大学歯学部長

2018 年　松本歯科大学総合歯科医学研究所教授

2023 年　松本歯科大学退職　、愛知学院大学歯学部客員教授、信州大学医学部委嘱講師

村井康司（14 期）

〔著書〕

★『ジャズの明日へ　コンテンポラリー・ジャズの歴史』（河出書房新社）★『ジャズ喫茶に花束を』（河出書房新社）★『200CD21 世紀へのジャズ』（編著・立風書房）★『ジャズ“名盤”入門』（共著・宝島社〈宝島新書〉）★『レコードコレクターズ増刊　マイルス・デイヴィス・ディスク・ガイド』（ミュージックマガジン社）★『JAZZ 100 の扉ーチャーリー・パーカーから大友良英まで』★『現代ジャズのレッスン』（共にアルテスパブリッシング）★『あなたの聴き方を変えるジャズ史』（シンコーミュージック）★『ページをめくるとジャズが聞こえる』（シンコーミュージック）

〔著者略歴〕

1958 年函館市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。小学館で国語辞書編集に携わりつつ、穂村弘（歌人）などのエッセイなどの書籍を手がける。尚美学園大学音楽表現学科講師（ジャズ史）。ジャズ・ライターとしては『スイングジャーナル』誌レギュラー・ディスクレビューアー。2009 年 11 月刊の『手のひらの味　食べ物の俳句』（編・「めくってびっくり俳句絵本」5 巻シリーズのひとつ・岩崎書店）で 2010 年産経児童出版文化賞・ニッポン放送賞を受賞する。

蛸島　直（14 期）

〔著書〕

★『身体と心性の民俗　（講座日本の民俗学　第2巻）』（共著　「病気と死」　雄山閣）　★『民族の移動と文化の動態　中国周縁地域の歴史と現在』（共著・風響社）★『台湾原住民研究　第 8 号』（共著・風響社）

〔著者略歴〕

1957 年函館市生まれ。筑波大学第一学群人文学類卒業。筑波大学大学院歴史・人類学研究科文化人類学専攻博士課程修了。愛知学院大学文学部教授。専攻は日本民俗学・文化人類学。

津金孝行（14 期）

〔著書〕

★『文科系のための情報科学入門』（高文堂出版社）★『情報科学入門』（共著・高文堂出版社）

〔著者略歴〕

1957 年函館市生まれ。東京電機大学工学部卒業。東京電機大学大学院理工学研究科修士課程修了。日本電気㈱を経て、函館大学商学部准教授。

青山英樹（14 期）

〔著書〕

★　『機械設計学』（共著　朝倉書店）★『プラスチックの射出成形用金型』（共著・〈財〉素形材センター）★『HCD ハンドブック　人間中心設計』（共著　丸善出版）★『機械加工ハンドブック』（共著・朝倉書店）

〔著者略歴〕

慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授。

佐々木亘（14 期）

〔著書〕
★『トマス・アクィナスの人間論　個としての人間の超越性』（知泉書館）★『食と心の教育の関連　健康に及ぼす食物栄養学的・心理学的・哲学的影響』（鹿児島純心女子短期大学）★『共同体と共同善　トマス・アクィナスの共同体論研究』（知泉書館）★『トマス・アクィナスにおける法と正義　共同体の可能性をめぐって』（教友社）
〔著者略歴〕
1957 年帯広市生まれ。南山大学文学部神学科卒業。南山大学文学研究科博士（神学）課程単位取得満期退学。文学博士。鹿児島純心女子短期大学生活学科教授。専攻は哲学・経済学。2025 年退官。

辻　一郎（14 期）
〔著書〕
★『のばそう健康寿命』（岩波書店）★『健康寿命』（麦秋社）★『実践事例で学ぶ介護予防ケアマネジメントガイドブック』（監修・中央法規出版）★『介護予防のねらいと戦略』（社会保険研究所）
〔著者略歴〕
1957 年函館市生まれ。東北大学医学部卒業。東北大学大学院医学系研究科教授。専門は公衆衛生学・健康科学。高齢者の健康増進と疾病(障害)予防に向けたプログラムを地域で展開中。

小笠原博宣（14 期）
〔著書〕
★『眼科学大系 1』（共著 「眼科学診断学・眼機能・眼底の血液測定」 中山書店）★『網膜・硝子体　すぐ役に立つ眼科診療の知識』（共著・金原出版）
〔著者略歴〕
1957 年茅部郡森町生まれ。旭川医科大学医学部卒業。旭川医科大学医学部附属病院眼科講師を経て、札幌市西区に医療法人ことに眼科クリニック開院。

中島克幸（14 期）
〔著書〕
★『ラストサムライの箱館戦争』（文芸社）★『古都のドラマを訪ねてー京都・奈良ー』★『江戸・東京のドラマを訪ねてー山手線沿線めぐりー』★『京都こだわり街歩き』（共に文芸社）★『続　上州をゆくーとっておきの群馬のお話』（あさを社）★『上州・あんな話こんな話』（言視舎）★『上州を行くー群馬のドラマを訪ねてー』（あさを社）
〔著者略歴〕
1958 年瀬棚郡今金町生まれ。立命館大学法学部卒業。朝日新聞社入社。1997 年に群馬県太田市に転勤し、住んで暮らしてみると群馬県が気に入り、1999 年から高崎市在住。現在は朝日新聞東京本社編集局に勤務のため、単身赴任しているが、休みの日だけ帰宅する生活をし、群馬各地を歩いている。

佐藤秀樹（14 期）

〔著書〕

★『弱点克服 労働安全コンサルタント試験過去問題集 産業安全一般・関係法令編－平成 24 年度から 6 年分の設問を解りやすく体系化』（共著 ブイツーソリューション）

〔著者略歴〕

1957 年函館市生まれ。中央大学理工学部精密機械工学科卒業。中央大学大学院理工学研究科（経営工学専攻）修了。東京農工大学大学院 MOT（技術リスクマネージメント経営学）修了。日揮（㈱）を経て、東京ガス㈱入社。新たな TG ブランドのコージェネレーションシステムの立ち上げに従事。東京ガス・エンジニアリング㈱土壌ビジネス営業部長、東京ガス㈱都市エネルギー事業部でソリューション営業室長、日立支社副支店長（震災復興に努めた）などを経て、現在は新しいエネルギーサービスの在り方を追求し、TG ブランドのエネルギーサービス「fitシリーズ」を立ち上げ、営業推進支援を行っている。

栗山俊弘（15 期）

〔著書〕

★『はじめての人の経理入門塾』（かんき出版）★『新社会人のための経理のしごと』★『マンガでやさしくわかる経理の仕事』（日本能率協会マネジメントセンター）『経理部の仕事－もっともわかりやすい』（PHP 研究所）★『改訂 3 版 経理部－図解でわかる部門の仕事』★『勘定科目と仕訳がわかる本』（共に共著 日本能率協会マネジメントセンター）

〔著者略歴〕

1957 年勇払郡厚真町生まれ。中央大学商学部会計学科卒業。マックス㈱入社。経理部で管理会計、財務会計、資金業務に従事した後、企画室にて経営企画を経験。その後、KPMG ピートマーウィック（現 KPMG 税理士法人）を経て、1995 年、栗山税務会計事務所を設立。財務・会計・上場支援など各種コンサルティング業務に関わっている。税理士・中小企業診断士。

工藤竜広（15 期）

〔著書〕

★『アイスウィンド・サーガ（3）暗殺者の影』（共訳 富士見書房）

〔著者略歴〕

1958 年歌志内市生まれ。北海道大学文学部卒業。北海道大学大学院中退（修士課程）。翻訳者（英語）。1994 年からテニカルライティング（コンピュータ関係）の実務翻訳に転じ、現在は翻訳会社「株式会社サン・フレア」勤務。訳書に『アイスウィンド・サーガ（4）暗黒竜の冥宮／（5）海賊海峡の死闘』（共訳・富士見書房）『ソ連・東欧の UFO－地球は彼らにとりまかれている』（共訳・たま出版）。某出版社文庫で文末解説を書いた「工藤龍大」名で、ハプスブルク帝国の歴史、中部ヨーロッパの民俗学など、近代の中欧をテーマに WEB 歴史作家を目指す。http://www.yeardragon.sakura.ne.jp/index.html 一年 365 日、活字に目をさらす鉄人読書家でもある。

辻廣雅文（15 期）

〔著書〕

★『金融危機と倒産法制』（岩波書店）★『ドキュメント 住専崩壊』（共著 ダイヤモンド社

〔著者略歴〕

1958 年函館市生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。ダイヤモンド社入社。「週刊ダイヤモンド」編集部において通信、コンピュータ、流通などの業界を担当。金融業界担当責任者として金融危機の取材を行う。編集長、取締役兼論説委員などを歴任。2015 年より帝京大学経済学部経営学科教授、2023 年より帝京大学短期大学現代ビジネス学科学科長を兼任。

淵田康之（15 期）

〔著書〕

★『キャッシュフリー経済』（日本経済新聞出版社）★『電子証券取引』（経済法令）★『証券ビッグバン』★『検証アメリカの資本市場改革』（共編著）★『XBRL 入門』★『グローバル金融新秩序』（以上、日本経済新聞出版社）

〔著者略歴〕

1958 年札幌郡手稲町生まれ。東京大学経済学部卒、シカゴ大学経営大学院卒。野村総合研究所資本市場研究部長、野村資本市場研究所執行役、同研究理事、金融審議会委員、公認会計士・監査審査会委員などに従事。2023 年退職。

小川 和美（かずよし）（16 期）

〔著書〕

★『天下太平洋物語』（旅行人）★『南の島でえっへっへ』(廣済堂出版)★「太平洋島嶼国議員は、拉致問題の決議案にどう対応したか？」などの論文がある。

〔著者略歴〕

1959 年東京都生まれ。京都大学経済学部卒業。HBC に就職し、ラジオ番組制作に携わった後退職、太平洋の島々を長期旅行する。その後は“南洋紀行家”を自称しつつ、日本と太平洋諸島の間の様々な仕事に従事。在フィジー日本大使館専門調査員、日本女子大学講師、ツバル政府開発政策顧問などを歴任する。現在は（社）太平洋諸島地域研究所主任研究員。

鈴木聡一郎（16 期）

〔著書〕

★『SKI の科学 コブ・新雪・ポール編』（監修 洋泉社）

〔著者略歴〕

1959 年函館市生まれ。北海道大学工学部金属工学科卒業。東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。㈱アシックス スポーツ工学研究所基礎研究部主査、1993 年、北見工業大学工学部機械システム工学科助手、助教授を経て同大機械工学科教授。専門分野はロボット工学・福祉工学・スポーツ工学。冬季スポーツ科学研究推進センター センター長などを経て、18 年 4 月に同大学長就任。

井元秀剛（17 期）

〔著書〕

★『余裕！のフランス語』（白水社）★『言語文化学概論』（共著　大阪大学出版会）★『テキストの生理学』（共著　朝日出版社）★『言語と文化の展望』（共著　英宝社）★『メンタルスペース理論による日仏英時制研究』（ひつじ書房）★『中級フランス語　時制の謎を解く』（白水社）

〔著者略歴〕

1960 年福岡市生まれ。東京大学教養学部卒業。東京大学人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。パリ第 8 大学言語学科修了。現在、大阪大学大学院言語文化研究科教授。

加藤久典(18 期)

〔著書〕

★『健康栄養学　健康科学としての栄養生理化学』（共編著　共立出版）★『アミノ酸の機能特性』（共著・建帛社）★『分子栄養学　第 2 版』（共著・光生館）★『核酸の分子栄養学』（共著　編集・NTS）

[著者略歴]

1961 年士別市生まれ。東京大学農学部卒業。東京大学大学院農学系研究科農芸化学博士課程中退。東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授。専門は分子栄養学。

加藤公堂（18 期）

〔著書〕

★『予備校論　学力崩壊にライダーキック！』（文芸社）

〔著者略歴〕

1960 年愛媛県松山市生まれ。北九州市立大学法学部卒業。愛媛大学大学院中国政治学専攻修士課程修了。中国語ボランティア通訳。代々木ゼミナール現代文講師として 10 年を経て、現在は和歌山信愛短期大学付属高校国語科教師。

福井康佐（18 期）

〔著書〕

★『国民投票制』（信山社出版）

〔著者略歴〕

1961 年青森県生まれ。中央大学法学部卒業。学習院大学大学院法学研究科法律学専攻博士後期課程修了。川崎市市民オンブズマン事務局専門調査員、東京国税不服審判所国税副審判官を経て、現在は参議院憲法調査会客員調査員。成蹊大学・学習院女子大学等非常勤講師。

湯浅哲也（18 期）

〔著書〕

★『ME用語事典』（共著　コロナ社）★『わかる画像処理』（共著・日新出版）

〔著者略歴〕

1961 年札幌市生まれ。東京大学理学部卒業。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。山形大学大学院理工学研究科教授。専門は画像処理・信号処理。

有馬善一（18 期）

〔著書〕

★『哲学に何を問うべきか』（共著 「世界の知−理念・地平・開け− 晃洋書房）★『人間環境の創造 持続可能な文明のために 第 2 版』（共著・勁草書房）など。

〔著者略歴〕

1962 年余市郡余市町生まれ。京都大学文学部卒業。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。摂南大学経営情報学部准教授。専門は哲学・倫理学。

畠山直毅（18 期）

〔著書〕

★『この一秒 極限を超えた十人の物語』（日本放送出版協会）★『競馬最弱の法則』

（共著 あすか書房）

〔著者略歴〕

1961 年函館市生まれ。学習院大学法学部卒業。ライブハウス店長をはじめ多数の職を経てフリーライターとなる。「Number」「別冊宝島」「現代」「NHK 将棋講座」などでギャンブルはもちろん、将棋、サッカーなどと幅広く活躍。

山本 仁（18 期）

〔著書〕

★『世界の歯科事情と安心ガイド 海外派遣労働者のために』（共著 社団法人日本歯科医師会）

〔著者略歴〕

1958 年函館市生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。日本歯科大学卒業。東京医科歯科大学大学院博士課程修了。包括診療歯科学・総合診療歯科学非常勤講師を経て、医療法人社団仁尚会理事。

杉山伸朗（18 期）

〔著書〕

★『組織の「伝達力」を高める 伝える能力の基本』（ノラ・コミュニケーションズ）★『ワークフローの実際』〈共著 日科技連出版社〉

〔著者略歴〕

1962 年帯広市生まれ。中央大学理工学部卒業。ビジネス・ブレークスルー大学院大学(Kenichi Ohmae Graduate school of Business)修了（MBA）。SEを経て、経営コンサルタント杉山伸朗事務所を開業。経営コンサルティング、企業人材教育を展開。2018 年 7 月 17 日死去。

西股総生（18 期）

〔著書〕

★『杉山城の時代』(KADOKAWA)★『戦国の軍隊 現代軍事学から見た戦国大名の軍勢』『「城取り」の軍事学 築城者の視点から考える戦国の城』★『土の城指南 歩いてわかる「戦国の城」』(すべて学研パブリッシング)★『東国武将たちの戦国史 「軍事」的視点から読み解く人物と作戦』(河出書房新社)

〔著者略歴〕

1961 年北見市生まれ。学習院大学文学部史学科卒業。学習院大学院史学科専攻・博士課程前期課程修了。㈱武蔵文化財研究所を経て独立、城郭研究家、フリーライター。城館史料学会、中世城郭研究会、日本考古学協会会員。2016 年の大河ドラマ「真田丸」では戦国軍事考証を担当。

藤田勉(18 期)

〔著書〕

★『心臓の病気で死なせない 2』(リ・スタジオ)★『心臓の病気で死なせない』(リ・スタジオ)★『藤田勉心のブログ』

〔著者略歴〕

1961 年稚内市生まれ。旭川医科大学医学部卒業。札幌徳洲会病院、国立循環器病センター内科心臓部門(CCU)を経て、札幌心臓血管クリニック開設。平成 23 年より札幌ハートセンター理事長。

三浦雅樹(19 期)

〔著書〕

★『中国名言名句の辞典』(共著 小学館)★『漢字典』(共著・旺文社)

〔著者略歴〕

1962 年函館市生まれ。上智大学文学部卒業。上智大学文学研究科国文学博士課程単位取得満期退学。和歌山信愛女子短期大学生活文化学科准教授。

石子智士(19 期)

〔著書〕

★『網膜・硝子体 すぐ役に立つ眼科診療の知識』(共著 金原出版) 〔この本は編集に 9 期・吉田晃敏、共著者に 11 期・廣川博之、14 期・小笠原博宣などがおり、複数の旭川医科大学の函館ラ・サール同窓生が関わっています〕★『コンパクト眼科学 15』(共著 金原出版)★『眼科診療メモ』(共著 南江堂)★『眼科診療プラクティス 67 変性近視』(文光堂)

〔著者略歴〕

1962 年上磯郡上磯町(現・北斗市)生まれ。旭川医科大学卒業。旭川医科大学大学院修了。旭川医科大学医工連携総研講座 特任教授。

野村修也(19 期)

〔著書〕

★『ケースブック会社法 第 3 版』(共著 弘文堂) ★『コンプライアンスのための金融取引ルールブック 第 11 版』(共 銀行研修社)★『損害保険論』(共編著 有斐閣)★『商法』(共著 税務経理協会)

〔著者略歴〕
1962 年函館市生まれ。中央大学法学部卒業。中央大学大学院法学研究科博士後期課程中退。中央大学法科大学院教授。金融庁や総務庁の法令等遵守調査室長。

乗田浩隆（19 期）
〔著書〕
★『金融機関のオペレーショナルリスク・マネジメント』（共著　ファーストプレス）
〔著者略歴〕
1963 年東京都生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。アメリカ・コロンビア大学経営大学院修了。経営学修士（MBA）。銀行や証券会社で市場・信用リスク管理や ORM 規定、金融検査マニュアル策定などのコンサルティングに従事。中央三井信託銀行、監査法人トーマツを経て、グローバンス㈱常務取締役ほか。

野寺博文（19 期）
〔著書〕
★『主の民か、国の民か』（共著　いのちのことば社）★『韓国強制合併から 100 年』（共著・いのちのことば社）がある。
〔著者略歴〕
1962 年留萌市生まれ。新潟大学経済学部卒業。東京基督神学校卒業。韓国・高神大学大学院博士課程（教会史専攻）修了。日本同盟基督教団赤羽聖書教会牧師。

辻　琢也（19 期）
〔著書〕
★『自立と協働によるまちづくり読本　自治「再」発見』（共著　ぎょうせい）　★『自治体のマネジメント改革』『地方制度改革』（共に共著　ぎょうせい）★『あたらしい自治体の設計　第 1 巻　分権と自治のデザイン』（共著・有斐閣）★『超高齢・人口減少社会のインフラをデザインする』（共編著　21 世紀政策研究所）
〔著者略歴〕
1962 年函館市生まれ。東京大学教養学部第3相関社会科学分科卒業。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。博士（学術）。政策研究大学大学院教授等を経て、一橋大学大学院法学研究科教授。

高橋秀宗（19 期）
〔著書〕
★『感染症の事典』（共著　朝倉書店）
〔著者略歴〕
1962 年空知郡北村（現・岩見沢市）生まれ。北海道大学医学部卒業。厚生労働省国立感染症研究所病態病理室長。研究テーマは HIV-1 の複製機構、プリオン病の早期診断。研究分野はウイルス学。

横山蔵利（20 期）

〔著書〕

★『ルポ　内部告発　なぜ組織は間違うのか』（共著　朝日新聞出版）

〔著者略歴〕

1962 年函館市生まれ。19 期で入学、アメリカ留学のため、20 期で卒業。早稲田大学社会科学部卒業。朝日新聞記者。東京社会部、北海道報道部などを経て、現在、釧路支局長。

上田正和（20 期）

〔著書〕

★『演習憲法人権　学部試験/各種国家試験/公務員試験　問題研究と答案例』（編著　新世社　発売・サイエンス社）

〔著者略歴〕

1963 年京都市生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。慶應義塾大学大学院法学研究科公法学専攻前期博士課程修了。大宮法科大学院大学教授、桐蔭横浜大学法科大学院教授を経て、帝京大学法学部教授。専門は契約法、企業法務・企業支援。2018 年 3 月、ひかり総合法律事務所に入所。2018 年 4 月より第二東京弁護士会副会長。

藤田　衛（20 期）

〔著書〕

★『生き残る病院建築　その設計手法』（共著　理工図書）

〔著者略歴〕

1963 年枝幸郡枝幸町生まれ。北海道大学工学部建築学科卒業。北海道大学大学院工学研究科建築工学専攻修士課程修了。㈱山下設計勤務。一級建築士・医業経営コンサルタント。長岡赤十字病院〈日本医療福祉建築賞 1999 年受賞〉などの設計のほか、病院等の企画提案、医療経営セミナーの講師も務める。

藤原誉康（20 期）

〔著書〕

★『紛争処理会計』（共著　税務経理協会）★『知的資産経営−戦略・情報・侵害・評価・税務』（共著　同文館出版）★『知的財産紛争の損害額計算実務』（執筆　日本公認会計士協会編　第一法規）★『法人税別表・決算書・人事資料等による企業改善・税務強化ガイドブック』（共著　清文社）。

〔著者略歴〕

1963 年網走市生まれ。早稲田大学商学部卒業。早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了。公認会計士・税理士。外資系監査法人、コンサルティング会社を経て、現在、網走市で藤原会計事務所主宰。

菅　敏幸（20 期）

〔著書〕
★『トップドラッグから学ぶ創薬化学』（共著　東京化学同人）★『有機合成実験法ハンドブック』（共著・丸善）★『天然物の全合成で活躍した反応　実験のコツとポイント』★『天然物の全合成　2000-2008、日本』（共に共著　化学同人）
〔著者略歴〕
1964 年釧路市生まれ。北海道大学理学部化学科卒業。北海道大学大学院理学研究科博士後期課程修了。財団法人サントリー生物有機化学研究所研究員、東京大学大学院薬学系研究科助教授、静岡県立大学薬学部・薬学研究院教授を歴任した。専門分野は天然物全合成、有機合成化学、医薬品化学。2021 年 7 月 24 日死去。

増田 祐志（まさし）（20 期）
〔著書〕
★『カトリック教会論への招き』（ぎょうせい）★『カトリック神学への招き』（編　上智大学出版）
〔著者略歴〕
1963 年生まれ。上智大学文学部哲学科卒業。イエズス会入会。泰星学園（現・上智福岡中学校・高等学校）で教諭を務め、上智大学神学部で神学を学び、９７年、司祭叙階。ウェストン・イエズス会神学大学院で神学博士号取得。上智大学神学部教授、上智大学副学長、エリザベト音楽大学理事等を歴任。専門はカトリック教義学、特にキリスト論、教会論、諸宗教の神学。2019 年 3 月 9 日死去。

寺嶋　毅（20 期）
〔著書〕
★『新型コロナウィルス PCR 検査 完全ガイドブック』（監修　宝島社）★『世界一わかりやすい 新型コロナウイルス完全対策 BOOK』★『世界一わかりやすい 新型コロナウイルス徹底防御 BOOK 最新版』（共に共同監修・宝島社）
〔著者略歴〕
1963 年室蘭市生まれ。慶應義塾大学医学部卒業。慶應義塾大学医学部内科学教室呼吸循環研究室、東京歯科大学市川総合病院内科学講座准教授などを経て東京歯科大学市川総合病院呼吸器内科教授。日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本感染症学会専門医・指導医などの資格を持つ。専門分野は呼吸器疾患、気管支喘息、COPD、肺炎、肺癌。

野澤　康（21 期）
〔著書〕
★『まちづくりデザインのプロセス』（共著　日本建築学会　発売丸善）★『まちづくりの科学』（共著　鹿島出版会）★『住環境　評価方法と理論』（共著　東京大学出版会）★『景観法と景観まちづくり』（共著学芸出版社）★『都市のシステムと経営』〈共著　岩波書店）★『建築ガイド・都市ガイド東京圏』（共著彰国社）★『事例で読む現代集合住宅のデザイン』（共著　彰国社）
〔著者略歴〕

1964 年函館市生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了。工学院大学工学部建築都市デザイン学科教授。

齋藤訓之（21 期）

〔著書〕

★『農業成功マニュアル 「農家になる！」夢を現実に』（翔泳社）★『創発するマーケティング』（共著・日経BP企画）★『外食業界のしくみ 図解雑学』★『食品業界のしくみ 図解雑学』（共にナツメ社）★『農業をはじめたい人の本』（監修 成美堂出版）★『入門 日本の七十二侯と旬の食』（洋泉社）★『創発する営業』（共著 丸善出版）★『有機野菜はウソをつく』（SB クリエイティブ）

〔著者略歴〕

1964 年函館市生まれ。中央大学文学部卒業。柴田書店「月刊食堂」編集者、日経BP社「日経レストラン」記者、農業技術通信社「農業経営者」副編集長兼出版部長を経て独立。2010 年、香雪社を設立し、代表取締役。食ビジネスの情報サイト「Food Watch Japan」を運営している。

秋山真一郎（21 期）

〔著書〕

★『最新の癌免疫細胞療法ーリンパ球療法から樹状細胞癌ワクチンまで』（共著 永井書店）

〔著者略歴〕

1965 年札幌市生まれ。札幌医科大学卒業。医学博士。日本がん治療認定医。日本臨床腫瘍学会暫定指導医。札幌医科大学附属病院研究生、宇宙開発事業団宇宙医学研究開発室医長、埼友草加病院医長、水海道さくら病院副院長、九段クリニック総院長などを経て、2012 年 12 月より UDX ヒラハタクリニック院長。

大渕修一（21 期）

〔著書〕

★『70 歳からの筋トレ&ストレッチ』（法研）★『健康寿命の延ばし方』（中央公論新社）★『一生ボケない、寝たきりにならない方法』（学研パブリッシング）★『自分でできる介護予防―高齢者の介護予防支援ガイドブック』（厚生出版社）などがある。

〔著者略歴〕

1964 年東京都生まれ。国立療養所東京病院付属リハビリテーション学院卒業。アメリカ・ジョージア州立大学大学院保健学研究科修了。1993 年、北里大学医療衛生学部助教授。2003 年、東京都老人総合研究所(現・東京都健康長寿医療センター研究所)介護予防緊急対策室室長、現在は東京都健康長寿医療センター研究所・在宅療養支援研究部長。専門領域は、理学療法学、老年学、リハビリテーション医学。

野坂晃一（21 期）

〔著書〕

★『移動平均線の新しい読み方』（共著 かんき出版）

〔著者略歴〕
1964 年函館市生まれ。日本大学工学部機械工学科卒。レーシングマシン開発などを手掛ける株式会社無限に入社。証券業界に転じると、株式ディーラーを経てアナリストとして企業調査や株価分析に従事。日本テクニカルアナリスト協会理事。

青木純二（23 期）
〔著書〕
★『数学の真髄 ―論理・写像―』（東進ブックス）
〔著者略歴〕
1966 年 10 月 29 日留萌市生まれ

豊福晋平（23 期）
〔著書〕
★『IT と文明　サルからユビキタス社会へ』（共著 「コミュニティを基盤とした教育情報化の展望」 NTT 出版） ★『IT なにが問題か』（共著・岩波書店）
〔著者略歴〕
1967 年函館市生まれ。横浜国立大学教育学部卒業。東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程中退。国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授。専門領域は学校教育心理学・教育工学・学校経営・教育情報化。95 年以降、教育情報発信サイト「キッズページ」（現 i-learn.jp）運営。

神山義茂（23 期）
〔著書〕
★『パラケルススからニュートンへ－魔術と科学のはざま』（訳　平凡社）
〔著者略歴〕
1966 年函館市生まれ。北海道大学理学部卒業。大阪府立大学人間文化学研究科博士後期課程単位取得退学。財団法人千里文化財団を経て、室蘭栄高校教員。

高田　洋（24 期）
〔著書〕
★『社会の見方・測り方　計量社会学への招待』（共編・共著　勁草書房）★『SPSS による多変量解析』（共編・オーム社）★『社会を〈モデル〉でみる！　数理社会学への招待』（共著　勁草書房）
〔著者略歴〕
1967 年檜山郡江差町生まれ。北海道大学文学部卒業。大阪大学大学院人間科学研究科社会学専攻博士後期課程修了。東京都立大学助手、札幌学院大学経済学部教授。

石岡克俊（27 期）
〔著書〕

★『著作権流通と独占禁止法』（慶應義塾大学出版会）★『市民カレッジ・知っておきたい市民社会の法』（共著　不磨書房）★『著作権の法と経済学』（共著・勁草書房）★『白書出版産業　データとチャートで読む日本の出版』（文化通信社）
〔著者略歴〕
1970 年芦別市生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。慶応義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学。慶應義塾大学産業研究所准教授を経て、法務研究科教授。

斉藤匡康（27 期）
〔著書〕
★『ないている町の鴉』　フリープレス（星雲社）
〔著者略歴〕
1970 年深川市生まれ。國學院大學文学部卒業。現在は筑摩書房校閲室勤務。

的場正人（27 期）
〔著書〕
★『リクルートのトップ営業が後輩に伝えていること　一人前の営業になる 6 つの習慣』（日本経済新聞出版社）
〔著者略歴〕
1971 年帯広市生まれ。北海道大学工学部機械工学科卒業。㈱リクルート入社。1996 年より現在の㈱リクルートマネジメントソリューションズに在籍し、営業の最前線で活躍する。02 年から営業マネジャーとなり、2 年連続で最優秀営業課賞を受賞。08 年より営業コンサルタントとして、数多くの企業の営業組織強化および営業マネジャー、営業担当の教育に携わっている。社内外の講演会も多数こなしている。

仁木岳彦（28 期）
〔著書〕
★『天使の写真』（主婦と生活社）
〔著者略歴〕
1971 年帯広市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。ニューヨーク州立ファッション工科大学などで写真を学ぶ。ニューヨークに 6 年間滞在後、イタリアにただならぬ縁を感じ、2000 年よりミラノに在住。ジョルジオ・アルマーニなどのセレブのポートレートやファッション、旅、カルチャーなど、幅広いジャンルで世界各国の雑誌・新聞に写真を寄稿。人間の表情や肉体、自然の風景を通して、溢れる生命の躍動感を静謐なタッチで表現する。雑誌「LEON」の Web Leon にて「イタリア日記」も掲載。

船越　洋（29 期）
〔著書〕
★『増殖因子と受容体』（共訳　メディカル・サイエンス・インターナショナル）
〔著者略歴〕

1972 年美唄市生まれ。旭川医科大学卒業。旭川医科大学大学院医学博士課程修了。大阪大学大学院医学系研究科准教授を経て、旭川医科大学教育研究推進センター　センター長・教授。専門は再生医学。

本城慎之介（29 期）

〔著書〕

★『本音の履歴書』（共著　アメーバブックス　発売・幻冬舎）

〔著者略歴〕

1972 年白糠郡音別町（現・釧路市）生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業。慶應義塾大学大学院総合政策メディア研究科修了。2002 年に㈱楽天取締役副社長を退任後、㈱音別を設立し、「教育」をテーマに活動を始める。横浜市立東山田中学校長や学校法人東京女学館理事など、教育現場の経験を積み、2019 年 10 月に長野県軽井沢町に私立の幼小中一貫学校、学校法人軽井沢風越学園を設立、理事長に就任。2020 年 4 月、開校。

戸（べっき） 次 大介（29 期）

〔著書〕

★『日本語文法の形式理論　活用体系・統語構造・意味合成』（くろしお出版）★『数理論理学』（東京大学出版会）

〔著者略歴〕

1973 年函館市生まれ。東京大学理学部情報科学科卒業。東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。理学博士。科学技術振興事業団(現在の科学技術振興機構)個人研究推進事業さきがけ研究 21「情報と知」領域専任研究員、東京大学 21 世紀 COE「心とことば―進化認知科学的展開」研究拠点形成特任研究員を経て、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授。専門は数理言語学、理論言語学、計算言語学。

佐藤大介（29 期）

〔著書〕

★『中高生から考える死刑制度　死に値する罪ってなに？』（かもがわ出版）。

〔概要〕

日本の死刑の実態、国際社会の流れ、冤罪など、死刑制度を巡って生じる数々の課題に対して、「あなたはどう考えるか」と読者に問い掛ける一冊。

〔その他の著書〕

★『ドキュメント　死刑に直面する人たち　肉声から見た実態』（岩波書店）★『オーディション社会韓国』（新潮社）『楽器で JAZZ を楽しもう』（共著・河出書房新社）★『観光コースでないソウル－歴史の息吹を感じる旅』（高文研）『13 億人のトイレ　下から見た経済大国インド』（KADOKAWA）

〔著者略歴〕

1972 年上川郡鷹栖町生まれ。明治学院大法学部卒業。毎日新聞社記者を経て、共同通信社記者。外信部配属。2009 年 3 月より 2011 年 11 月までソウル特派員。帰国後、経済部で経済産業省を担当するなどし、2016 年 9 月から 2020 年 5 月までニューデリー特派員。インド各地の都市や農村だけでなく、スリランカ、バングラデシュなどの周辺国も担当し、取材で現地をめぐってきた。同 6 月より外信部所属。各雑誌に記事を寄稿するほか、「スイングジャーナル」（現在休刊）などの音楽雑誌にジャズ評論も執筆する。

本間香貴（29 期）

〔著書〕

★『農学生命科学を学ぶための入門生物学[改訂版]』（共著　東北大学出版会）★『熱帯農学概論』（共著　培風館）★『アジア・アフリカの稲作』（共著　農文協）

〔著者略歴〕

1972 年釧路市生まれ。京都大学農学部卒業。京都大学大学院農学研究科博士課程修了。京都大学大学院農学研究科助手・同助教・同講師を経て、東北大学大学院農学研究科作物学分野教授。専門分野は環境・農学、作物生産科学作物学。

石川知裕（30 期）

〔著書〕

★『悪党　小沢一郎に仕えて』（朝日新聞出版）★『雑巾がけ　小沢一郎という試練』（新潮社）★『小沢一郎はなぜ裁かれたか　日本を蝕む司法と政治の暴走』（共著　徳間書店）★『砂糖と安全保障　TPP 参加が領土問題を勃発させる』（講談社）★『検察に嵌められた政治家たち』（共著　日本文芸社）★『逆境を乗り越える技術』★『政治って何だ!?－いまこそ、マックス・ウェーバー「職業としての政治」に学ぶ』（共著　ワニブックス）

〔著者略歴〕

1973 年足寄郡足寄町生まれ。早稲田大学商学部卒業。1996 年 2 月から 2005 年 7 月まで小沢一郎秘書。同年、衆院選で北海道 11 区から民主党公認で立候補して落選、2007 年 3 月に繰上げ当選。2009 年再選。2010 年 1 月、政治資金規正法違反容疑で逮捕、同年 2 月に起訴、民主党離党。2012 年、衆院選に新党大地の公認で北海道第 11 区から立候補したが落選。しかし、重複立候補していた比例北海道ブロックの惜敗率の結果、復活当選。2013 年 5 月 21 日、みずからの裁判に専念したいとして提出した議員辞職願いを提出、辞職が許可された。2014 年、法政大学大学院政治学研究所入学。2015 年、民主党に復党。

竹之内禎（30 期）

〔著書〕

★『Information Ethics : The Future of Humanities』（共編著　ブイツーソリューション）★『情報倫理の思想』（共編著訳　NTT 出版）『情報倫理の挑戦—「生きる意味」へのアプローチ』（共編著　学文社）★『情報サービス論〔ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望 4〕』（編著　学文社）　★『生きる意味の情報学　共創・共感・共苦のメディア』（東海大学出版）★『情報資源組織論』（共著　東海大

学出版）
〔著者略歴〕
1974 年東京都生まれ。法政大学文学部哲学科卒業。図書館情報大学（現・筑波大学）大学院情報メディア研究科博士後期課程修了。東京大学大学院情報学環助手、特任講師などを経て、東海大学課程資格教育センター准教授。研究領域は基礎情報学、情報倫理学、図書館情報学。

小嶋公志（31 期）
〔著書〕
★『みんなの相続税　ーズバッとわかる節税法！』（めでぃあ森）
〔著者略歴〕
1974 年函館市生まれ。成蹊大学経済学部卒業。㈱光通信、会計事務所勤務を経て、2006 年、東京都立川市で小嶋税理士事務所を開業。相続案件は保有財産 5000 万円～4 億円程度の案件を数多く手がけ、相続発生前の対策にも対応している。相続税に関する講演活動では、独自のワークシートを用いたワークショップ形式の相続税入門セミナーが好評。

角幡唯介（32 期）
〔著書〕
★『空白の五マイル　チベット、世界最大のツアンポー渓谷に挑む』（集英社　第 8 回開高健ノンフィクション賞受賞作品。この作品で第 42 回大宅壮一ノンフィクション賞、第 1 回梅棹忠夫・山と探検文学賞受賞）★『川の吐息、海のため息　ルポ黒部川排砂』（桂書房）★『雪男は向こうからやって来た』（集英社　第 31 回新田次郎文学賞受賞作）★『探検家、36 歳の憂鬱』（文藝春秋）★『アグルーカの行方　129 人全員死亡、フランクリン隊が見た北極』（集英社　第 35 回講談社ノンフィクション賞受賞作）★『地図のない場所で眠りたい』（共著・講談社）★『探検家の日々本本』（幻冬舎　毎日出版文化賞　書評賞受賞作）★『旅人の表現術』（集英社）★『探検家、40 歳の事情』（文藝春秋）★『漂流』（新潮社）★『極夜行』（文藝春秋　Yahoo!ニュース　本屋大賞　ノンフィクション本大賞・第 45 回大佛次郎賞受賞作）★『新・冒険論』（集英社インターナショナル）★『極夜行前』（文藝春秋）★『探検家とペネロペちゃん』（幻冬舎）★『エベレストには登らない』（小学館）★『そこにある山　結婚と冒険について』（中央公論新社）★『狩りの思考法』（清水弘文堂書房）★『裸の大地　第一部　狩りと漂泊』（集英社）★『書くことの不純』（中央公論新社）など。
〔著者略歴〕
1976 年芦別市生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。探検部 OB。2002 年 12 月から 2 カ月にわたって、長らく謎の川とされてきた東チベットのヤル・ツアンポー川峡谷の未踏査部を単独で探検し、ほぼ全容を解明。2003 年、朝日新聞社入社。富山支局に 3 年間、北埼玉支局に 2 年間在籍後、2008 年 6 月に退社。ノンフィクション作家・探検家。2008 年「イエティ」探索隊に参加。2009 年、ツアンポー川渓谷単独行。

岸田直樹（32 期）
〔著書〕

★『誰も教えてくれなかった風邪の診かた　重篤な疾患を見極める！』（医学書院）★『感染症非専門医・薬剤師のための　感染症コンサルテーション』★『総合診療医が教える　よくある気になるその病状レッドフラッグサインを見逃すな！』（共にじほう）★『DVD　感染症コンサルタント岸田が教えるどこまでやるの感染対策』（ケアネット）など。Twitter で医療情報発信中。
〔著者略歴〕
1975 年函館市生まれ。1995 年東京工業大学理学部中退。2002 年旭川医科大学卒業。手稲渓仁会病院初期研修(3 年)、
同総合内科・医学教育フェロー修了。2008 年静岡県立静岡がんセンター感染症科フェロー、2010 年手稲渓仁会病院総合内科・感染症科感染症科チーフ兼感染対策室長、2014 年 4 月より一般社団法人 Sapporo Medical Academy 代表理事。2017 年より北海道薬科大学客員教授。感染症コンサルタント(総合診療医・感染症医)。

平山　尚（34 期）
〔著書〕
★『ゲームプログラマになる前に覚えておきたい技術』（秀和システム）★『プログラムはこうして作られる　プログラマの頭の中をのぞいてみよう』（秀和システム）。
〔著者略歴〕
1977 年札幌市生まれ。京都大学工学部卒業。京都大学大学院工学研究科修了。研究テーマは遺伝子研究。㈱セガ勤務。『電脳戦機バーチャロンマーズ』(PS2)及び『パワースマッシュ 3』(アーケード、PS3)の開発に参加する。

斉藤　健（たけし）（34 期）
〔著書〕
★『FUTURE　～今を読み解き、みらいを考える～』vol.3・STEAM 執筆（SRJ）★『FUTURE　～今を読み解き、みらいを考える～』小学生向けと中高生向け（vol.1,vol.2）（執筆　SRJ）。
〔著者略歴〕
1977 年北見市生まれ。学習院大学法学部卒業。学習院大学大学院法学研究科博士前期課程修了。桐朋中学校非常勤講師、早稲田渋谷シンガポール校教諭などを歴任。探究学習を先駆けて実践研究。現在は東京家政大学附属女子高等学校非常勤講師、情報経営イノベーション専門職大学客員教授、Z 会ライター。アジアを中心とした国際ボランティアのフィールドワークを行う。

安東周作（35 期）
〔著書〕
★『ニュースの科学用語　これでわかった！　180 字で理解する、今さら聞けない科学と技術の基礎知識』(共著　技術評論社)
〔著者略歴〕
1978 年函館市生まれ。東北大学理学部宇宙地球物理学科卒業。東北大学大学院理学研究科天文学専攻修士課程修了。北海道大学科学技術コミュニケーター養成プログラム(CoSTEP)修了。研究テーマ

は科学技術コミュニケーション論・宇宙論。フリーランスでサイエンス・コミュニケーターとして活動する。北海道高等学校教諭(理科)。

堀井　悠(ひさし)**(43 期)**
〔著書〕
★『優れたリーダーはなぜ、対話力を磨くのか？』(堀井悠、松本悠幹　CROSSMEDIA PUBLISHING)
〔概要〕
部下の育成や部下とのコミュニケーション、組織マネジメントに関する課題解決に役立つヒントを提供してくれる一冊。
〔寄稿〕
★ビジネス誌『企業と人財』(2020 産労総合研究所) 特集「中堅社員のフォロワーシップ」★ 『月刊先端教育』文部科学大臣認定学校法人先端教育機構 連載「パーソナルブランドを発信できる個人を増やして組織を変革」(2024 年 11 月) 自著を紐解く「優れたリーダーはなぜ、対話力を磨くのか？」(2025 年 4 月)
〔著者略歴〕
アンドア株式会社　代表取締役
函館ラ・サール学園中学校 1 期、同高等学校、慶應義塾大学総合政策学部卒業。組織の対話の質向上に特化した人材開発コンサルタント。スターバックス、リクルートなどを経歴し、会社のパーパスと個人の主体性を意味づける対話について豊富なファシリテーションの経験を持つ。大手自動車メーカー、製薬会社、内閣府、大阪市など累計 500 社以上で人材開発を経歴し、「腹割り対話」「きっかけ砂時計®対話」などの独自メソッドを開発。マネジメントの失敗事例をデータベース化し、組織の問題を構造的に示す論理性と、落語を思わせる共感的な語り口で講師満足度平均 96%をマーク。ミッションは誰もが「本来の力を、思いのままに」できること。

〔付記〕先生たちの著書

※著者の(　)内は担当教科・在籍期間・その後の勤務先等です。
谷口　巌(国語　1960～1966 年　愛知教育大学・岐阜女子大学　物故〈2015 年 8 月 28 日死去〉)
★『「吾輩は猫である」を読む』(近代文芸社)　1500 円　1997 年 1 月
〔概要〕
『猫』には読むたびごとに発見がある。漱石名作再読再々読の楽しみ。

遊佐悦大(社会　1960～1994 年　物故〈2014 年 11 月 20 日死去〉)
『父親だけにできること』(女子パウロ修道院)　650 円円　1978 年 3 月
〔概要〕
1978 年当時、アメリカでも父親の権威回復が課題で、vanishing father という言葉が流行語になっていた時、日本の父親に自信を与えるために書かれたもの。
〔その他の著書〕

『遊佐先生の教育講座 1～4』(ワールド・ナショナル)

柳瀬喜代志(国語　1961～1963 年　早稲田大学　物故)
★『日中古典文学論考』(汲古書院)　21000 円　1999 年 7 月
〔概要〕
儒教や道家の思想研究を出発点とし、中国六朝・唐の古小説の研究を推進し、日本文学における漢籍の受容の問題にも取り組んだ著者の、六朝志径小説源流考、平安・鎌倉期の学問と文学に関する論文、合わせて 50 編を収める。
〔その他の著書〕
『李嶠百二十詠索引』(東方書店)『将門記・陸奥話記・保元物語・平治物語(新編日本文学全集 41)』(校注、訳・小学館)『国語教育史に学ぶ』(共著・学文社)ほか。

吉岡正敞(英語　1962～1968 年　函館工業高等専門学校　物故〈2018 年 11 月死去〉)
★『フランス語ことわざ研究』(訳・駿河台出版社)　3675 円　2005 年 4 月
〔概要〕
19 世紀フランスのことわざ研究家 P.M.キタールの代表的著作の翻訳。ことわざを愛してやまぬ著者が熱烈に語り継ぐ、ことわざ擁護とことわざ賛歌の書。数々の珍しいことわざを繰り出して、興味深く語られる詳細な解説と考察が満載。
〔その他の著書〕
★『ロシア語ことわざ集　日英仏対照』(編著・駿河台出版社)『フランス語ことわざ集』(編・駿河台出版社)『眼の中の死　古代ギリシャにおける他者の像』(共訳・法政大学出版会)『英語ことわざ集　日仏独対照』(私家版)『チェーホフ自身によるチェーホフ』(訳・未知谷)など。

鮫島正英(国語　1962～1964 年　ラ・サール高校　物故〈2006 年 2 月死去〉)
※鮫島先生は鹿児島のラ･サール高校卒業、東京大学国文科卒業後、函館ラ・サール高校教師を経て、ラ･サール高校で国語教師。
★『万葉の魅力』(教育出版センター)　2100 円　1984 年 2 月
〔概要〕
柿本人麻呂や山部赤人らの万葉歌人の一つ一つの歌に、万葉仮名の訓み方、古代語、年代、地名の詮索、文法上の解明等々を、古人の説から最近の研究まで綿密に取捨し、自分の見解を述べる。原歌の気分を漂わせながら、読者の心に滲み入るような、平易な口語訳が添えられている。
〔その他の著書〕
『万葉集　作品の秘密』(教育出版センター)『わがラ・サール高校』(教育出版センター)『古文解釈講義　難関大学に挑む』(駸々堂書店)など。

村元直人(理科　1964～1993 年　函館短期大学　物故〈2017 年 3 月 27 日死去〉)
★『蝦夷地の外人ナチェラリストたち』(幻洋社)　1995 円　2000 年 12 月

〔概要〕
江戸時代末期、他に先駆けて海外に窓を開いた蝦夷地。訪れた外国人博物学者たちは、その自然に何を見出したか。列伝で綴る北海道ナチュラルヒストリー。植物学者マキシモビチ、アルブレヒト医師、貿易商ブラキストン、地震学者ミルン、動物学者モース等々。
〔その他の著書〕
★『北海道の食　その昔、我々の先人は何を食べていたか』(幻洋社)『学校に未来はあるか　画一化それは死だ！』(北海道教育社)

津田洋行(国語　1964～1969 年　明治大学文学部　東京都青梅市在住)
★『透谷像構想序説　伝統と自然』(笠間書院)　1500 円　1979 年 5 月
〔概要〕
明治期に近代的な文芸評論(「厭世詩家と女性」「内部生命論」など)をおこない、27 歳で自殺した北村透谷のおけるキリスト教と陽明学の関連などの伝統との関りあい、及び透谷の内部に関る自然の問題を双軸にして、透谷が日本の近代の創出に際して苦悶したひとつの可能性を追究する。
〔その他の著書〕
★『近代日本史試論　―横井小楠と東アジア型近代の可能性―』(私家版)『近代への架橋　明治前期の文学と思想をめぐって』(共著　「東アジア的近代への道」・蒼丘書林)『本多秋五の文芸批評　芸術・歴史・人間』(共著　「本多秋五の歴史小説論・私論」・菁柿堂(発売・星曇社)『文芸とメディア　その過去と未来』(共著　「メディアとしての政治小説」・蒼丘書林)など。

宮崎守成(数学　1965～1976 年　函館工業高等専門学校　物故〈2008 年死去〉)
★『初等数学』(近代文芸社)　2039 円　1994 年 11 月
〔概要〕
我々が住む地球の意味を、「万有引力」による自然現象を通して考える数学書。「ケプラーの法則の周辺」と「自然現象としての軌道」の二部構成で、万有引力に迫る。
〔その他の著書〕
『虚像の塔　1～4』(私家版)『関数の発見物語　これが初等関数だ』(トムズ出版部)

大谷隆昶(物理　1966～1969 年　広島工業大学　物故〈2017 年 6 月死去〉)
★『大砲と帆船』(訳・平凡社)　2800 円　1996 年 3 月
〔概要〕
中世を通じて絶えずイスラムの脅威に受け身の対応を余儀なくされ続けたヨーロッパが、突如反攻に転じ、東は日本、西はアメリカにいたるまでの大洋の覇権を握ることができたのは何故なのか…。
〔その他の著書〕
『錬金術師ニュートン　ヤヌス的天才の肖像』(訳・みすず書房)『科学的発見の現象学』(共訳・紀伊國屋書店)『理性の考古学　フーコーと科学思想史』(共訳・産業図書)ほか。

高月　晋（英語　1967～1972 年　函館大学　函館市上湯川町在住）
★『英検辞典』（丸善出版）　4725 円　2003 年 9 月
〔概要〕
この単語ではこう出題される！　単語・熟語を引くと例文が問題形式で載せてあり、その難易度を英検 1 級から 4 級までのレベルに記号で分類。TOEIC、TOEFL、通訳ガイド試験、大学入試などにも大いに役立つ辞典。
〔その他の著書〕
『「たとえ」で学ぶ英語』（丸善）『「言い回し」で学ぶ英語　英検 2 級からのステップ・アップ』（同文館出版）

石井恭一（倫理　1970～1972 年　ラ・サール・ホーム　物故〈2012 年 8 月 2 日死去〉）
★『丘を下っていった人　聖ラ・サールの生涯』（ラ・サール学園同窓会　鹿児島）　3000 円
〔概要〕
近代教育の礎を築いたといわれ、母校の学園の名にもなっている聖ジャン・バティスト・ド・ラ・サールの生涯を詳細かつ丹念に迫った評伝。〔この本の売り上げは仙台ラ・サール・ホームに寄付されています〕

山家　勝（国語　1967～1986 年　北星学園　七飯町在住）
★『北海道から日本の近代が見える』（財界さっぽろ）　2037 円　2018 年 9 月
〔概要〕
2018 年は「北海道命名 150 年」の年。学校から与えられた歴史は「開拓」なのだろうが、蝦夷島側に立ってみれば、乱獲、乱伐、すなわち「自然破壊」「資源収奪」の歴史と言えよう。蝦夷史は本来、この視点で書かれなければならないのではないか。10 年の歳月をかけ、膨大な文献に当たり、現地に赴き、調査し、独自の視点で北海道の近代を再検証する。

函館ラ･サール高校同窓生“創造の森”

2010 年 10 月 23 日・函館ラ・サール創立 50 周年記念式典を期に、音楽・美術・芸能など、さまざまな芸術方面で活躍している同窓生の略歴・作品などを紹介する“創造の森”を作成しました。

■本データは 2025 年 5 月 25 日現在のものです。
■可能な限り調べましたが、まだ芸術分野で活躍している方々がいらっしゃると思います。
ご存知の方は函館ラ・サール同窓会 HP 管理人・大塚智美　tommy764217g@a04.itscom.net までお知らせください。

菊池俊治（1 期）　木版画家
〔略歴〕
1944 年函館市生まれ。武蔵野美術大学油絵科卒業。同大在学中は棟方志功・恩田秋夫に学んだ。70 年、日本板画院展・新人賞を受賞する。各国に取材旅行を重ねて創作活動を続けており、ニューヨークや 2005 年 1 月、函館で画業 40 年記念の個展（**「菊池俊治　木版画の世界展～熱きふるさと、函館を思いつづけて…」**）など国内外で 114 回の個展を開催、ベルリン国際版画展招待出品をはじめ、内外の多数の美術展に出品、海外での評価も高い。2001 年のアメリカ同時多発テロ直後のニューヨーク個展には、市民を励まそうと、救助活動をする消防士をモチーフにした作品も出した。黒々とした黒と太い線を駆使した作品には力強さがみなぎる。「異国情緒の漂う函館の街が創作の原点」と、函館をテーマにしたシリーズも製作している。雑誌「論座」（朝日新聞社　2008 年 9 月で休刊）の表紙も担当した（2003 年 2 月～2005 年 9 月）。2010 年より「ガラス絵」に挑戦している。
〔著書〕**『つきがみていたはなし』**（共著　こぐま社　1260 円　1987 年 9 月　版画で月夜のﾌｧﾝﾀｼﾞｰを表現した、ロマンチックな絵本）
『木版画ノート』（共著　版画作家に学ぶ「墨摺り版画」「ストライプの服」「裏手彩色」「函館夜景」 視覚デザイン研究所　2100 円　1988 年 7 月　誰でも美しい木版画を楽しめるように、プロの技術をわかりやすく紹介）

志村智雄（1 期）　舞台俳優/演出家/劇作・脚本家
〔略歴〕
1944 年函館市生まれ。早稲田大学第一法学部卒業後、東京演劇アンサンブル付属養成所を経て、70 年に「前進座」入座。70 年 6 月、全国巡業**『肥後の石工』**が初舞台。主な舞台は**『青べか物語』**蒸気河岸の先生役（主役）**『ろば』**ろば一文字号役（主役）**『さぶ』**さぶ役（主役）**『唐茄子屋』**伯父六兵衛役**『御浜御殿綱豊卿』**新井勘解由役 **『銃口』**北森政太郎役 **『今日われ生きてあり』**香坂司郎役(主演)**『天平の甍』**業行役など。映画出演には**『寅次郎の縁談』**（松竹）**『落陽』**（日活）、テレビ出演には**『北の家族』**（NHK 朝ドラ）**『伝七捕物帖』**（日本テレビ）**『煙が目にしみる』**（NHK）などがある。舞台の演出も数多く、98 年、劇団俳小**『どさ回りのハムレット』**の演出で、池袋演劇賞豊島区長賞を受賞した。

2010 年 10～12 月には前進座特別公演『**夢千代日記**』で劇作・演出をしている。得意な語学は函館弁というほど、故郷函館をこよなく愛す。北海道公演も多く、2010 年 8 月には札幌で市民劇『**今も聞こえる藻岩の叫び**』の演出をした。「良く性格が描かれた個性的な人物ならどんな役でも挑戦したい」をモットーにしている。現在、「前進座」座友。著書に『**志村智雄戯曲集　如月の華　九条武子ものがたり　夢千代日記**』(ぶんしん出版)。2021 年 5 月 23 日死去。

槇　大輔(2 期)　声優

〔略歴〕

1946 年生まれ。学習院大学経済学部卒業。日本俳優連合外画・動画部会会員。株式会社シグマ・セブン所属。これまでの仕事の内容はテレビ・ラジオを中心に、司会、リポーター、DJ、吹き替え、語り(ナレーション)等々多岐に渡る。このところはテレビ番組の語り・ナレーションを中心に、舞台での語りの公演が多い。特に「読み語り」は生涯の自分の極めるべき道(芸)として取り組んでいる。14 年前に自ら立ち上げた「語座(かたりざ)」の舞台では、山本周五郎、浅田次郎、池波正太郎を初め、太宰治、志賀直哉、夏目漱石、芥川龍之介、といった近現代の有名作家の作品を語ってきた。テレビ番組では、20 年近く続いている日本テレビ「**ザ！世界仰天ニュース**」「**ニュース・エヴリィの特集**」、テレビ朝日の日本初のお坊さんバラエティー「**ぶっちゃけ寺**」、テレビ東京では 10 年以上続く「**所さんの、学校では教えてくれないそこんトコロ**」、さらに「**田勢康弘の週刊ニュース新書**」「**土曜スペシャル**」等。BS フジの「**大使館の食卓**」「**皇室のこころ**」、BS 朝日「**わが心の美空ひばり**」「**中村吉衛門・幸福の一皿**」等々、報道・ドキュメンタリーからバラエティーまで、内容に応じた語り口・声で活躍している。又、TBSテレビのレギュラー時代劇「**水戸黄門**」の最後の語り手である。かつては一業種一社のテレビ・ラジオ CM のナレーションを担い、四六時中その声が電波に乗っていた事も……。時には自ら出演したテレビCMも多々ある。又、象印の CM の最後に付いている「ぞうじるし」の一言は 25 年以上経った今でもテレビから流れている。癖読みではなく、誰が聞いても分かりやすい自然な抑揚の日本語、文章表現を心がけて、生涯「語りの求道者」を標榜する声優である。

木村裕行(3 期)　ステンドグラス作家/金属彫刻家

〔略歴〕

1947年亀田郡七飯町生まれ。山形大学工学部卒業。東北大学大学院工学部研究生。父親は北方民族を描き、日本の風土を描き、世界を歩いて、人と自然の内奥に迫った“情熱と力”に充ちた画家・木村捷司。カトリック信者だった両親の影響もあって、幼い頃より外部からの透過光で見るため、人の目に非常に美しく映り、多くの人間の心を癒し続けるステンドグラスの魅力に惹かれる。1975 年、有限会社「琢磨工房」を設立し、ステンドグラス制作の仕事を始める。教会・庁舎・教育・福祉施設・個人邸などにオリジナルデザインによるステンドグラスおよび金属彫刻を制作している。有限会社「琢磨工房」代表取締役。ステンドグラスの作品は仙台ラ・サール会本部、函館白百合学園、トラピスチヌ修道院、渡島当別のトラピスト修道院、札幌藤学園キノルドホール、藤女子大学、札幌マリア院、七飯町役場庁舎ロビー、大沼国際セミナーハウス、札幌天使病院、札幌教区・北広島教会、神奈川藤沢聖心の布教姉妹会修道院などにあります。金属彫刻の作品は函館元町カトリック教会・風見鶏、トラピスト修道院大聖堂の聖櫃・グリル・正門、シャルトル聖パウロ会修道院(函館元町)聖櫃・祭壇、函館旭ヶ岡の家(社会福祉法人　函館

カリタスの園）祭壇・十字架・暖炉などにあります。作品は琢磨工房のホームページで見ることができます。http://takuma-kobo.com/　1993 年、七飯町鳴川に「木村捷司記念室」を開設、毎年 4 月より 11 月までの毎日曜日、約 60 点の作品を公開している。著書に自ら編集・監修した**『木村捷司自選画集』**（琢磨工房）。

あがた森魚（本名・山縣森雄　5 期）　フォークシンガー/シンガー・ソングライター/俳優/映画監督

〔略歴〕

1948 年留萌市生まれ。明治大学文学部中退。72 年、**「赤色エレジー」**にてデビュー。当時、アメリカのフォーク・ロックやヒッピームーブメントなどに強い影響を受けながらも、その影響下に留まらず、日本の大正や昭和のロマンティックな大衆文化を彷彿とさせる、幻想的で架空感に満ちたオリジナリティあふれる作品世界を音楽、映画を中心に創り出していった。2008 年、還暦を迎えライヴツアー「惑星漂流 60 周年！」を全国各地で展開、2009 年 2 月の記念イベント「Zipang Boyz 號の一夜」まで含めたドキュメンタリー映画**『あがた森魚ややデラックス』**が 2009 年 10 月に公開、全国順次公開中。2009 年 2 月のライブ盤**『Zipang Boyz 號の一夜』**も好評発売中。2012 年 12 月 20 日にはデビュー40 周年、オリジナルアルバム 40 枚目**『ぐすぺり幼年期』**が発売される。2022 年、デビュー50 周年を迎え、ライブも全国で展開、引き続き意欲的な活動が続いている。 http://www.agatamorio.com/

〔ディスコグラフィー〕CD 70 年代**『蓄音盤』『乙女の儚夢』『噫無情』『日本少年（ヂパング・ボーイ）』『君のこと好きなんだ。』**etc

80 年代**『乗物図鑑』『永遠の遠国の歌』『バンドネオンの豹（ジャガー）』『バンドネオンの豹と青猫』『ミッキーオの伝説』**etc　90 年代**『プラネッツ・アーベント』『ピロスマニア海へ行く』『24 時の惑星』『第七東映アワー』『日本少年 2000 系』『あがた森魚のラジオ・ショウ』**etc　2000 年以降**『佐藤敬子先生はザンコクな人ですけど』『ギネオベルデ(青いバナナ)』『タルホロジー』『女と男のいる舗道』『理想の靴下と船』**etc　40 枚あまりのアルバムを発表。2022 年、50 周年記念アーカイヴ**『あがた森魚 SHOW TIME』『デラックス雷蔵』『赤色エレジー・清怨夜曲 −50th エディション』**をリリース。

〔フィルモグラフィー〕監督作品**『僕は天使ぢゃないよ』**（74 年）**『オートバイ少女』**（94 年）**『港のロキシー』**（99 年）出演作品**『つぐみ』**（90 年　主人公まりあの父親役）**『失楽園』**（97 年　主人公・久木の同僚役）**『人のセックスを笑うな』**（2008 年　猪熊さん）etc

〔著書〕**『あがた森魚読本』**（音楽出版社）**『菫礼礼少年主義宣言』**（新宿書房）**『モリオ・アガタ 1972〜1989』**（エディション・カイエ）**『愛は愛とて何になる』**（共著　小学館）。

三嶋典東（5 期）　グラフィック・アーティスト/イラストレーター/装幀家

〔略歴〕

1948 年瀬棚郡今金町生まれ。武蔵野美術大学造形学部商業デザイン専攻卒業。在学中より雑誌のデザインや書籍の装幀・装画を手がける。70 年代に粟津潔、寺山修司の下で経験を積んだのちにフリーとして独立、以降、イラストレーター、ブックデザイナー、グラフィックデザイナーとして、印刷メディアにおいて幅広く多彩な活動をしてきた。80 年代に“線”の魅力に取り付かれて以来、作家としての創作活動を開始し、線画を描き続けてきた。80 年代中期、5 年間かけて立て続けに刊行した 3 部作の作品集**『雨**

RAIN TRAIN』『風 WIND MIND』『光 LIGHT FIGHT』(岩崎美術社)や、2009 年、“線”描シリーズの新たに 3 テーマ「砂」「泡」「波」を加え、576 ページにも及ぶ作品集『LINE STYLE』(9000 円 ブルース・インターアクションズ)等、自身の本領とする紙媒体による精力的な作品発表のほか、近年では、3 時間にも及ぶライヴドローイングを行う等、その創造はコマーシャルデザインだけには留まらない。2005 年より 2009 年まで武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科教授。東京イラストレーターズ・ソサエティ、日本図書設計家協会会員。2010 年 7～8 月に渋谷・NANZUKA AGENDA で、大型アクリルと透明フィルムに描かれた新作と 25 年間の作品群から厳選されたドローイング作品を集めた個展「三嶋典東 LINE MAN」を行った。そのほかの作品には『線生活 LINE LIFE』『線の贈り物』(岩崎美術社) 『オリーブの天使たち』(河出書房新社) 『仔馬のハル』(架空社) DVD『PEN-ish Line Life 三嶋典東の線次元』(BEAMS+MASSAGE)など。W・バロウズ『裸のランチ』(河出書房新社)など、単行本の装幀・挿画も多数手がける。

元岡一英(6 期) ジャズ ピアニスト

〔略歴〕

1950 年有珠郡伊達町(現・伊達市)生まれ。音楽好きの両親の影響で音楽に目覚める。中学ではブラスバンド、在学中はグリークラブ。68 年、慶応大学入学のため上京。騒乱の街新宿にてジャズに出会い、衝撃を受ける。その後、松本英彦4、向井滋春5に加入、70 年代旺盛な演奏活動を続ける。80 年に渡米、バリー・ハリスに大きな刺激を受ける。83 年帰国後、オリジナリティーとジャズの融合をめざし、高橋知己(ts)らと北海道バンドを結成。89 年『Visions』 91 年『5minutes a go』 92 年『Quite a dance』をリリースし、94 年に解散。その後も現在におけるジャズの可能性を追求し、旺盛に演奏活動を続け、現在に至る。自己のトリオのほか、渡辺文男 5、中村誠一グループなどで活躍中。現在、町田駅西口から徒歩 1 分の老舗ジャズスポット「Nica's」でマスターを務めている。 http://members.jcom.home.ne.jp/mtookaz/

〔ディスコグラフィー〕CD『スペイシング・アウト』(向井滋春らと)『ヒップ・クルーザー』(向井滋春らと)『MAKE SOMEONE HAPPY』(高橋知己らと)『アジアン・モダニズム』『アーバン・ビバップ』(大山日出男らと)『Born to Music』(渡辺文男らと)『ノスタルジア』(竹内直らと)『Tokyo Dusk』(Kazuhide Motooka Trio)『I`ll Remember April』(橋本信二と)など。

高橋知己(7 期) ジャズ テナー・サックス奏者

〔略歴〕

1950 年常呂郡常呂町(現・北見市)生まれ。在学中はグリークラブ、軽音楽同好会に在籍。そこで元岡一英さん(6 期)、寺下誠さん・菊地昭紀さん・芳野泰郎さん(共に 8 期)らと知り合う。72 年、自己のカルテット(寺下誠 p、米木康志 b、守新治 d)で新宿ピットイン にデビュー。70 年代は自己のカルテットのほか、向井滋春 5、古津良治郎グループ、森山威男 4 等で活動。79 年、初リーダー作『TOMOKI』。80 年代はエルヴィン・ジョーンズ(ds)ジャパニーズ・ジャズ・マシーン(84～90 年)、渡辺文男(ds)、寺下誠(p)グループなどに参加。また元岡一英(p)らと北海道バンド(84～93 年)を結成。その後は自己のグループのほか、渡辺文男(ds)、清水くるみ(p)グループなど数々のセッションで活動。

http://www7a.biglobe.ne.jp/~tomokey/

〔ディスコグラフィー〕CD『**Feeling Good**』(AKETA'DISK 2009 年 2800 円 編成で、レギュラー・グループらしく息の合った演奏を展開)『**Nothin' But Coltrane**』(AKETA'DISK 2007 年 2800 円 ジョン・コルトレーンを信奉する高橋知己が、コルトレーンへ捧げた入魂の作品)『**Blues to Elvin**』『**高橋知己 4Featuring 渡辺文男 Plays"Lady In Satin"**』『**Smile Please**』『**Wise One**』(共に AKETA'DISK)『**Nothing Like You**』『**MAKE SOMEONE HAPPY**』(共にブラッツ) 『**RECONFIRMATION**』『**PERHAPS**』(共にインディーズ レーベル)など。

渡邊博史(7 期) 写真家

〔略歴〕

1951 年夕張市生まれ。札幌市出身。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、アメリカ・ロサンゼルスに移住、テレビコマーシャル制作の仕事につく。1993 年、UCLA(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)で MBA 修士号を修得。1995 年頃から個人的な作品として写真を撮り始める。2000 年よりファインアート写真家として活動を始め、以来アメリカ、日本、ヨーロッパで多数の個展を行う。多くの受賞を受け、世界の写真雑誌で作品を発表する。作品はフィラデルフィア美術館、ヒューストン美術館、ジョージ・イーストマン・ハウス、サンタバーバラ美術館などでコレクションされている。著書は写真集★『**FINDINGS**』(Photolucida アメリカ)〈Photolucida から Critical Mass Book Award を受賞〉 ★『**私は毎日、天使を見ている。**』(窓社)〈さがみはら写真賞を受ける〉 ★『**パラダイス・イデオロギー**』(窓社)〈この仕事に対し、Center Project Competition First Prize を受ける〉 『**Suo Sarumawashi**』(photo-eye Editions アメリカ) ★『**ラブ・ポイント**』(冬青社)がある。2012 年 9 月 12 日から 25 日まで、銀座ニコンサロンにて『ARTIFACTS:日系人強制収容所からの「もの」展 渡邊博史写真展』を開催。同時期に Hibiku, Inc.から、iPad アプリ写真集『**ARTIFACTS 日系人強制収容所からの「もの」**』が出版された。2012 年 11 月 30 日から 2013 年 3 月 2 日まで、ドイツ・ミュンヘンにて写真展「Time Travels」を開催。2014 年 7 月 14 日から 20 日まで、ギャラリー冬青にて写真展「ダムが崩れる日」が開催される。(★印の著書は母校図書館にあります)

http://www.hiroshiwatanabe.com/

寺下 誠(8 期) ジャズ ピアニスト

〔略歴〕

1951 年檜山郡江差町生まれ。函館市育ち。小学校の頃からピアノを始め、中学の時にセロニアス・モンクを聴いてジャズに興味を持ち、在学中に高橋知己さん(7 期)、浜田均さん(9 期) らと共に、Jazz 研を創立。早稲田大学理工学部入学とともにジャズ研に入部、レギュラーメンバーとなり、在学中からプロとして活動し始める。77 年にはニューヨークへ渡り、翌年、ボブ・バーグ(ts)らと第一作『**グレートハーベスト**』をレコーディングする。帰国後、ハロルド・ランド(ts)と共演した第二作『**トポロジー**』をリリース。自己のトリオで第三作『**イーハトーブ**』をリリース。海外のジャズメンとの共演も多い。毎年、ジャズセミナーを開催したり、新宿ピットインでジャム・セッションの進行役を務めたり、若手ミュージシャン育成にも力を注いでいる。http://www.geocities.jp/bulldog11th/

〔ディスコグラフィー〕CD『**イーハトーブ**』(東京サウンドシティ 2500 円 1996 年 6 月録音 ピアノの鬼才・寺下誠がハードに、リリカルにジャズを綴る!! バド・パウエルの流れを汲む、知的でピアニスティックな演奏はモダン・ジャズ・ピアノの手本となった趣がある)『**グルーヴィー・インディード！ﾃｲﾁｸ/ﾕﾆｵﾝ編**』(P ヴ

ァイン・レコード　森山威男カルテットらと)『**マクラジャ**』(SHIMAYA MUSIC　平田王子らと)『**Real Jazz Moments**』(グ・ルーヴ)『**GREAT HARVEST**』(THINK!)。

菊地昭紀(8 期)　ジャズ　サックス/フルート奏者

〔略歴〕

1951 年帯広市生まれ。富良野市育ち。在学中はグリークラブ、軽音楽同好会に在籍。そこで元岡一英さん(6 期)、高橋知己さん〈7 期〉、寺下誠さん(8 期)らと知り合う。卒業後、上京。一年ほど中野のジャズ喫茶「ジャズオーディオ」で働いた後、ピットインに入社。小宅珠美5、渡辺文男5、ピットイン主催のビッグバンドの SMC オーケストラ、土井一郎「ミリオンパラ」などのバンドに参加。数多いサックスプレイヤーの中でも、ひときわ音色の美しいプレイヤーとして定評がある。六本木ピットイン時代よりPAエンジニアとして数知れないほどのバンド(日野皓正バンド etc)や、ジャズフェス(Mt.FUJI ジャズフェス、斑尾ジャズフェほか)にて、エンジニアリングを担当。現在も日本にとどまらず、世界各国でその腕を振い続けている。

芳野藤丸(本名・芳野恭郎　8 期)　　ミュージシャン

〔略歴〕

1951 年函館市生まれ。3 歳の時からバイオリンをはじめ、小学生の頃にはプレスリー、リック・ネルソン等に親しむ。在学中はグリークラブ、軽音楽同好会に在籍。大学入学と同時に上京、学生仲間とバンド「WISH」を結成。72 年「つのだヒロ・スペースBAND」にギタリストとして参加。73 年「藤丸 BAND」を結成、西城秀樹のサポートバンドとして活躍。78 年「One Line Band」を結成、79 年、バンド名を「SHOGUN」に変更。その後現在に至るまで数々のアルバム等をリリースし、人気を博す。ライター&スタジオ・ミュージシャンとしても活躍している。2014 年 6 月、函館親善大使に就任。著書に『**芳野藤丸自伝 Lonely Man In The Bad City**』(DU BOOKS)がある。http://www2u.biglobe.ne.jp/~krishna/fujimal/

〔ディスコグラフィー〕CD『**YOSHINO FUJIMAL**』(イーストウエスト・ジャパン　2001 年　SHOGUN のリーダーでヴォーカリストでもあった芳野が、SHOGUN が活動停止していた間にリリースしたソロ・アルバム〈82 年〉第 1 弾の再 CD 化)『**ROMANTIC GUYS**』(イーストウエスト・ジャパン　2001 年　芳野藤丸ソロ第 2 弾アルバム〈83 年〉の再 CD 化。ポップでキャッチーな作品満載の実に楽しいポップ・アルバム)　シングル『**思い出の内側で**』(83 年　MOON RECORD)『**美しきライバル**』(80 年　CBS/SONY)『**Lonely Man In A Bad City**』(2007 年　インディーズ・メーカー)など。SHOGUN としては 2014 年 4 月、『**The Road of Life**』(IVY Record)を発売。2015 年 11 月、『**Over The Legend**』(ベルウッドレコード)発売。著書に『**芳野藤丸自伝 Lonely Man In The Bad City**』(DU BOOKS)。

浜田　均(9 期)　ジャズ　ヴィブラフォン奏者

〔略歴〕

1953 年富良野市生まれ。6 才より 12 才までマリンバを習う。在学中にジャズを好きになり、軽音楽クラブでジャズバンドを作り、マリンバで演奏を始める。東京都立大学理学部物理学科に進学するが、傍ら早稲田大学モダンジャズ研究会に参加して演奏活動を始める。卒業後、東京芸術大学別科打楽器に進学する。修了後、「猪俣猛&フォース」でプロデビューし、4 年間で 7 枚のアルバムに参加。ジャズ・ヴィ

ブラフォン奏者として高い評価を得る。解散後、91 年、デル・マーレを結成し、CD『**オブ・ザ・シー**』をリリース。FM 放送のパーソナリティーを担当したり、いろいろなミュージシャンのアルバムに参加したり、大学の講師を務めたり、多彩な活動を繰り広げる。また作曲活動も盛んに行い、『**SORACHI 2**』『**Hanker Cool Sight**』などの打楽器のための曲も好評である。音楽書に『**名曲から学ぶ即興演奏法第 1 巻・第 2 巻**』(コマキ楽器)がある。

https://lhx10.linkclub.jp:8443/sitepreview/http/linkclub.or.jp/?previous_page=dom_ctrl

〔ディスコグラフィー〕CD『**FOX DANCE**』(クラウドナイン 2001 年 8 月 2800 円 ジャズ、クラシック……、あらゆるインストゥルメンタルミュージックの枠を越え、行き着いた、心に残る美しきメロディー) 『**QUITE TRIANGLE**』(クラウドナイン 2008 年 6 月 2500 円 女性フルート奏者・赤木りえ、新鋭ギター&ヴォーカリスト古川 麦と「クゥワイエット・トライアングル」を結成。"Quiet"をテーマに「静」の持つ力強さを表現したアルバム) 『**FURANO HOLY HILL**』『**夢のとき-Furano-**』『**森のうた**』(フェビアン・レザ・パネと)など。

藤井眞吾(11 期) クラシック ギター奏者/作曲家

〔略歴〕

1954 年上磯郡上磯町(現・北斗市)生まれ。ギターを独学で 10 歳より始める。京都大学農学部在学中にギターを岡本一郎に師事し、「第 1 回ギター音楽新人大賞」で優勝。81 年、京都大学大学院農学研究科博士課程を中退し、スペインへ留学。いったん帰国して演奏活動を開始するが、再び渡西し、ホセ・ルイス・ゴンザレスのもとで研鑽を積む。「ルイス・コーレマン国際音楽コンクール」でコーレマン賞を受賞。87 年、帰国後はギター独奏者として各地でリサイタルを開催するほか、上海音楽学院客員教授などの教授活動、近年は作曲家、指揮者としての活動も活発である。ギターの可能性を広げる活動を国際的に展開。作曲作品に『**紺碧の舞曲**』『**パッサカリア**』『**天使の協奏曲**』『**ラプソディー・ジャパン**』『**Air**』(以上、フォレストヒル出版)、編曲作品に『**泥棒かささぎ序曲**(ロッシーニ)』『**ギター二重奏のための E. サティ作品集**』(以上、現代ギター社出版)などがある。13 期・藤井敬吾さんとは兄弟です。京都府八幡市在住。http://homepage3.nifty.com/shingogt/

〔ディスコグラフィー〕CD『**夜のスケッチ**』(フォレストヒル 96 年 7 月 3000 円 フルート奏者・清水信貴と) 『**黒いデカメロン～レオ・ブローウェル作品選集**』(フォレストヒル 2000 年 10 月 2940 円) 『**藤井眞吾ギター作品集～天子の協奏曲**』『**函館の音 2～函館のパイプオルガン～**』『**猫の組曲**』(CD つき絵本) DVD『**W・カネンガイガーとその仲間達 in Japan 2008**』など。

川村裕司(11 期) ジャズ テナー/ソプラノサックス奏者 フルート奏者

〔略歴〕

1954 年帯広市生まれ。卒業後、上京。恵比寿ヤマハネム音楽院にて山口真文、渡辺貞夫に師事。ピットイン等ライブハウスで活動後、80 年渡米。帰国後、「宮間利之とニューハード」に入団。84 年、同楽団にて東欧ツアーや南仏ニースジャズ祭公演を行う。Jazz エイド等のコンサート、『ザ・ベストテン』(TBS)などにレギュラー出演。2000 年、ニューヨーク JVC Jazz フェスティバルに出演。同楽団のコンサートマスター、ソリスト及びアレンジャーとして活躍中。このほか「角田健一 BIG BAND」、「マイク・プライス(tp)オーケストラ」のレギュラー、自己の和洋折衷バンド「パルパ」のリーダー。「～ニューハード」「角田～BAND」で文化庁芸術祭優秀賞を二度受賞する。ミュージックスクール「ダ・カーポ」(東京・新大久保)で講師を

務めている。
〔ディスコグラフィー〕CD『**パルパ**』(しゃくはち風庵　2003年8月　2940円　初のリーダーアルバム。自身のオリジナルのほか、日本古謡、スタンダードナンバーも取り上げ、新たな境地を開拓している。尺八奏者・菅原久仁義とのコラボレーション作曲)　『**ビートジェネレーション**』『JVC Jazz Fes. in NY』(宮間利之とニューハードで)　『**シャッフリング・シャッフル**』『**サバンナ**』『BIG SWING』(角田健一 BIG BAND で)『RESISTANCE』(堀剛らと)　『DAVE'S FAVORITE Vol.2～ALL STANDARDS～』(石川ジャズオーケストラ"ピラミッド"らと)　『Smoke Ring』(深水洋と)など。

植竹公和(11期)　放送作家/作詞・作曲家/ミュージシャン
〔略歴〕
1954 年函館市生まれ。法政大学日本文学部卒業。在学中は落語研究会に所属し、「飛び出せ！ものまね大作戦」(フジテレビ)「びっくりショー」「お笑い大集合」(関西テレビ系)でものまねチャンピオン。「みのもんたの激ラジモンターマン大逆襲」(文化放送)にレギュラー出演兼放送作家として活躍する。卒業後、オフィス・トューワンに放送作家兼ミュージシャンとして参加し、『**オレたちひょうきん族**』『**夕焼けニャンニャン**』(フジテレビ)　『**イトイ式**』(糸井重里、キムタクらの深夜トーク番組)『**ブロードキャスター**』『**はなまるマーケット**』『**上岡龍太郎がズバリ**』(TBS)　『11PM』『**ザ・トップテン**』『**いい加減にします**』(日本テレビ)　『**ミュージックステーション**』(テレビ朝日)　『**小倉智昭のとことん気になる 11 時**』(ギャラクシー賞受賞　文化放送)などを担当。角松敏生とバンドを組み、ボーカル(兼ベーシスト)ライブ活動。西武音楽賞準優勝。作詞作曲家として杏里『MERCURY LAMP』(作曲)　角松敏生『JUMPER』　片岡鶴太郎＆美保純『**二人のメラメラ**』など(作詞作曲)　MC小宮(コント赤信号)『**遣唐使です**』宮田愛『**冬の同窓会**』など(作詞)がある。2005 年、オフィス・トューワンを退社し、フリーになる。毎月、渋谷・ラママでのお笑いライブ「新人コント大会」をコント赤信号の渡辺正行、永峰明と司会と構成をし、爆笑問題、くりぃーむしちゅー、ウッチャンナンチャン、ダチョウ倶楽部、浅草キッド、さま～ず、ピンクの電話、タカ＆トシを輩出する。『**ラジカントロプス 2.0**』(ラジオ日本)で時々司会や、『**所さんの笑ってコラえて**』(日本テレビ)を担当している。HPのタイトルも「歌う放送作家」。　http://d.hatena.ne.jp/sugarbabe49/

小林　裕(12期)　ジャズ　ピアニスト
〔略歴〕
1955 年札幌市生まれ。日本大学芸術学部音楽学科作曲コース卒業。バークリー音楽大学デュプロマ修了。ピアノをバリー・ハリス、ジョアン・ブラッキンらに師事する。ピアニスト、キーボードプレーヤーとして多くのコンサートツアー、レコーディングに参加する。トロント及びモントリオール・ジャズフェスティバル、北海道文化使節としてロシアでのコンサートなど、海外でも演奏活動を行う。テレビ・ドラマの音楽を担当するほか、多くのコンサート、レコーディングのアレンジを担当し、作・編曲家としても活動している。
http://pfyutaka.starfree.jp/
〔ディスコグラフィー〕CD『**ビューティフル・ラヴ～ザ・NYC・セッション　feat.アル・ディメオラ**』(ISOL DISCUS ORGANIZATION　2008 年 3 月　2375 円　エディ・ゴメス(b)、ビリー・ドラモンド(ds)、小林裕(p)のトリオを核に、奇才アル・ディ・メオラ(g)が参加した、スタンダードの数々をリリカルに、時にダイナミックに演奏したスーパー・セッション)『CHANSON SANS PAROLES』(VME　2003年12月　2571円　あ

の頃の思い出、故郷の風、都市の喧騒、そして今を生きるということ……。あなただけの物語を奏でます)『Early Days』(78 LABEL　2012 年 12 月　2880 円　小説家・今野敏(12 期)をプロデューサーに迎え、彼の初期短編小説とのコラボレーション　ピアノソロアルバムに挑戦)

のむらしんぼ(本名・野村　伸　12 期)　漫画家

〔略歴〕

1955 年茅部郡南茅部町(現・函館市)生まれ。立教大学文学部仏文科入学後に初めて触れた青年漫画に衝撃を受けて漫画家を目指し、2 年の時に漫画研究会に入り、弘兼憲史と知り合い、アシスタントとなった。在学中の 79 年に小学館新人コミック大賞を受賞した『ケンカばんばん』(「コロコロコミック」)でデビュー。80 年、同誌に「とどろけ！一番」を連載する。大学に通わなくなったために 5 年在籍したが、卒業はしていない。85 年より 95 年まで「コロコロコミック」で 4 コマ『**つるピカハゲ丸**』を連載する。87 年には同作で第 33 回小学館漫画賞児童部門を受賞、テレビアニメ化もされ、全 25 巻累計 500 万部のヒット作となった。以降も「コロコロコミック」の系列誌を中心として作品を発表し、児童ギャグ漫画界で活躍している。

〔主な作品〕『**つるピカハゲ丸ベストセレクション**』上・下　『**ラチェット＆クランク　ガガガ！銀河のがけっぷち伝説**』1・2 巻　『**あっぱれメガバカ Boys**』1・2 巻　『**男トラゴロウ**』1・2 巻　『**チャレンジ！なぞなぞ日本一周**』『**かげきベイビー　バーブー赤ちん**』『**どすこい！サイぼん**』『**早おぼえ　日本史人物**』『**早おぼえ　理科**』『**トップ　放課後社長は 12 さい**』〈本名で原作を担当。作画・岩田和久〉『**ケンカばんばん**』(以上、小学館)『**とどろけ！一番**』上・下(小学館　英知出版)など。

藤井敬吾(13 期)　クラシック　ギター奏者/作曲家

〔略歴〕

1956 年上磯郡上磯町(現・北斗市)生まれ。7 才よりギターを始め、独学で和声学や対位法を学びつつ、作曲を始める。15 歳から数年間にわたり一日一曲を日記代わりに作曲する。イギリスのギルド・ホール音楽院とスペインのオスカル・エスプラ音楽院に学ぶ。85 年、「ラミレス・コンクール」と「オレンセ国際コンクール」に連続して第1位となるほか、「マリア・カナルス国際コンクール」などに入賞している。96 年、青山音楽財団より「青山音楽賞」を授与される。独奏、室内楽、協奏曲などのほか、ピアニストである夫人の藤井由美との二重奏を中心に、国内や海外でも多く演奏しているほか、大阪音楽大学短期学部と京都市立京都堀川音楽高校で講師を務めている。作曲作品の『**羽衣伝説**』はイギリスのクラシカルギター誌で 20 世紀を代表する作品として紹介され、いろいろなギタリストによりすでに 10 枚 CD になっている。『**組曲“怒りの日”**』『**中世組曲　藤井敬吾ギター作品集**』『**マンドリンとギターのためのソナタ**』などの作曲作品が現代ギター社、ミューズ音楽館、トレッケル社(ドイツ)、ベルベン社(イタリア)から出版されている(13 冊)。11 期・藤井眞吾さんとは兄弟です。京都府向日市在住。http://www.h3.dion.ne.jp/~keigo777/

〔ディスコグラフィー〕CD『**グラナダの花**』(96 年 7 月　2520 円)『**麗しき薔薇を知るもの**』(マンドリン奏者・柴田高明と)『**地中海協奏曲**』(藤井由美と)　DVD『**Keigo plays Keigo Fujii　羽衣伝説～**』など 7 枚が現代ギター社から。『**序曲**』(ミューズ音楽館)など。

辻野正人（13 期）　映画・テレビドラマ作品の監督/演出家

〔略歴〕

1955 年生まれ。早稲田大学卒業後、数々のテレビ・映画作品に助監督として携わった後、85 年に東映テレビプロに移籍。**『東映不思議コメディーシリーズ』**（フジテレビ）の助監督、88 年、**『おもいっきり探偵団　覇悪怒組』**（フジテレビ）にて監督デビューを果たす（同作品ではシナリオも執筆）。コメディー・シリアス・一般ドラマ・特撮(東映、松竹関係なく)を多岐に撮る存在は演出家として稀有の存在といっていい。近年は自身のライフワークである『科捜研の女』シリーズ（全シリーズに唯一監督として参加）、『トミカヒーロー　レスキューフォース』の両作品でメイン監督を務めるなど精力的に活動している。

〔フィルモグラフィー〕**『ハロー張りネズミ』**（助監督　大映　91 年）　監督作品**『幕末高校生』**（フジテレビ 94 年）**『超力戦隊オーレンジャー』**（テレビ朝日　95～96 年）**『木曜の怪談　七瀬ふたたび』**（フジテレビ　95 年）**『闇のパープル・アイ』**（テレビ朝日　96 年）**『電磁戦隊メガレンジャー』**（テレビ朝日　97～98 年）**『星獣戦隊ギンガマン』**（テレビ朝日　98～99 年）**『トミカヒーロー　レスキューフォース』**（テレビ東京　2008～2009 年）**『新・科捜研の女』**シリーズ（テレビ朝日　2004～2010 年）など。DVD 作品に**『超力戦隊オーレンジャー』『電磁戦隊メガレンジャー』『トミカヒーロー　レスキューフォース』**などがある。

堂前守人（15 期）　陶芸家

[略歴]1958 年兵庫県姫路市生まれ。81 年、大分県立芸術短期大学生活芸術科卒業。82 年、愛知県立窯業職業訓練校終了。82 年より 85 年までオーストラリア・シドニー（アンドリュー・ハルフォードの工房）やニュージーランド・オークランド（ジェフ・スコールズの工房）にて学ぶ。86 年、帰国後、愛知県瀬戸市にて安立佐和子の工房で学ぶ。87 年、瀬戸市湯之根町にて独立。2000 年、「高校 3 年間を過ごした函館の自由な気風と丘と海がある街並みが、修業先だったニュージーランドのオークランドに似ていたから」と、函館市船見町の函館港を見下ろす高台に工房兼住宅を建て、十字街に「はこだて工芸舎」を運営。(有)Blue Box Craft 代表取締役。入選歴に朝日現代クラフト展・日本クラフト展・高岡クラフト展・美濃国際陶芸展・札幌芸術の森クラフト展。日本クラフトデザイン協会会員。制作は日常食器が中心で、北海道の植物をモチーフに淡いピンクに黄色、水色、若草色、墨色、銀彩で描いています。釉上彩色という独特の技法で作られる和と洋を兼ね備えた器の世界は、30 年前から続く愛好家の方も多くいます。東京・名古屋・京都・札幌など、毎年全国各地で個展を開いている。http://blueboxcraft.com/

対馬正徳（21 期）　ジャズ　ギター奏者

〔略歴〕

1964 年青森市生まれ。11 歳よりギターを始め、15 歳でハービー・ハンコックの「処女航海」聴いてジャズに開眼。大学在学

中よりロック、ポップス等のバンドでライブ活動開始。85 年、現 hi-posi の前身「森林倶楽部」に在籍。ジャズ・ロック・インストバンド「ファムファタール」やセッションワークを経て、97 年よりジャズに転向。2004 年、「ROSSA」に加入し民族音楽とジャズのコラボレーションを追求する。以降、applehead、安倍“王子”隆雄（R.O.M.A、元バービーボーイズ、PSY’S）、ともだしんご（元 SHI-SHONEN、セッションドラマー）、やまもときょうこ（Vo.元オルケスタ・デル・ソル）、カウント・ベイシー楽団（結成 75 周年記念ジャパンツアー

2010）等と共演。現在、自己のグループ「The Sleek Jazz Trio～Quartet」を中心に、歌伴、ビッグバンド等で首都圏のライブハウスなどで活動中。http://jazzy.blogzine.jp/
〔ディスコグラフィー〕CD『SECOND TRIP TO LAKESIDE HILL』（2004 年 10 月　2000 円　ROSSA の 2nd アルバム　収録楽曲「川の流れのごとく」「風」「アレキサンドライトの雫」「海沿いの街」「キャプリコーンの夢」ほか）

北川智浩（24 期）　陶芸家

[略歴]1967 年帯広市生まれ。同志社大学法学部法律学科卒業。マーケティング調査会社の会社員を経て、95 年、横浜市の野中春利の門に入り志野、青白磁技法を学ぶ。その間、野中春甫、野中恭子に教えを受ける。2002 年、江別市東野幌本町にて築窯、独立。05 年、江別市野幌若葉町に工房と窯を移築。工房併設ギャラリー「あゆ藤」オープン。10 年、試みの茶事・EZO 茶会に出品、参加。江別市の地酒「瑞穂のしずく」と酒器セットとして「白磁しずく文冷酒杯」を企画制作。11 年、「北川智浩展～白磁大鉢と水氷文様～」を開催。第1回伝統工芸北海道展（札幌三越）の開催実行委員会に参加、出品。13 年、「第 1 回全国俊英陶芸作家展」（札幌今井丸井）に参加。第 6 回現代茶陶展入選。公募展入選は日本伝統工芸展・東日本伝統工芸展・伝統工芸新作展など。作風は硬質な印象の磁器素材を使いながらも、柔らかく丸みを帯びた動きを表現。北海道の風土に根ざした「氷」と「ツララ」をモチーフにした「白磁水氷文」が特徴。作品は大小の角状や円形状の皿、各種カップ、タンブラー、とっくりといった家庭用品。純白だが淡いブルーが浮く清楚な作り。東京・札幌・小樽で個展を行う。http://www14.ocn.ne.jp/~hakuji/plofile.htm

仁木岳彦（28 期）　写真家

[略歴]1971 年帯広市生まれ。上智大学新聞学科卒業。1994 年にニューヨークに渡る。ニューヨーク州立ファッショ ン工科大学にて写真を学び、フォトグラファーとしてのキャリアをスタートする。30 余国を旅し、ヨーロッパ旅行中に、強烈な郷愁を感じたイタリアに在住する事を決意し、2000 年にミラノに活動の拠点を移す。2004 年にはサンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼、2007 年にはカトリックの洗礼を受ける。洗礼名はフランチェスコ。現在もミラノ在住。エル、GQ、マリークレール、 エスクワイアー、ニューヨークポスト、アイリシュエコー、朝日新聞などに写真を寄稿。専門はポートレート、ファッション、旅、ドキュメンタリーなど。撮影対象は様々だが、ニュアンスのある光の空気感に特徴があり、人間の表情や肉体、自然の風景を通して、溢れる生命の躍動感を静謐なタッチで表現する。作品は被写体を光で包み込むような空気感で知られ、イタリアのメジャー誌美術欄では「瞑想に誘いざなう写真」と評された。雑誌「LEON」の Web Leon にて「イタリア日記」も掲載中。2016 年 11 月に世界各地で撮った天使のヴィジュアルブック『天使の写真』（主婦と生活社）を刊行。注目を浴びる。http://www.siteniki.com/

佐久間高広（29 期）　ジャズ　ベース奏者

〔略歴〕

1972 年常呂郡留辺蘂町（現・北見市）温根湯温泉生まれ。学園祭で川村裕司（11 期）カルテットの演奏に触れ、ジャズに目覚める。東京工業大学工学部入学後、ジャズ研究会に入部。ウッドベースを水上信幸氏に師事、ジャズのアンサンブルを新澤健一郎、平井景、岩瀬立飛等とのセッションを通じて学ぶ。

94 年、ピアニスト三尾真貴子のバンド「ANKIMO」にて、横浜ジャズプロムナード優秀賞を受賞、続けて1stアルバム・レコーディングに参加。95 年、武井康次バンドにて吉祥寺ジャズコンテストで最優秀賞受賞。96 年、新宿ピットイン若手 Pick Up メンバーにも選出され、野本晴美らと共演する。ジャズの中でもスイングからフリーまで幅広くカバーする柔軟な音楽性を持っている。現在、事業企画やキャリアカウンセラーの仕事をしながら、大堀博士ばんど、THIS、井上治4、市川 h.s.trash スーパービギナーズジャムのレギュラーメンバーをはじめ、都内各所での“あまちゅあ”でライブ演奏活動を続ける。
http://ameblo.jp/b-saku-jazz/
〔ディスコグラフィー〕CD『**トランジェント・シティー**』(T-TOC RECORDS 2007 年 12 月 2500 円 井上オサム(ts)らと。物憂げなテナーサックスと、夜の帳の深さを思わせるスリリングなオリジナル曲の、知的でクールな感触が心地よいクインテット・アルバム)

吉岡直樹(33 期) ジャズ ベース奏者

〔略歴〕
1976 年函館市生まれ。中学時代、吹奏楽にてトロンボーンを始め、高校まで続ける。高校受験の頃、デューク・エリントン楽団の CD を聴いて衝撃を受け、ジャズ・ファンとなる。名古屋大学教育学部入学と同時に軽音楽部に入部し、念願のベースを始める。ジャズ・アンサンブルをギタリストの森田利久に師事。在学中よりジャズ・クラブで演奏する機会も得る。趣味では飽き足らなくなり、大学卒業後プロ入りを決意する。ベースを中村新太郎に師事、内外のミュージシャンから多くを学ぶ。2004 年、2 管編成のクインテットでリーダーとして初めて演奏する。以来、機会があるたびにリーダーとしても活動する。選曲に際しては、過去の名演や同時代のミュージシャンに対してはもちろん、作品を残した作曲者、作詞者に対しても誠意のある解釈を心がけている。現在、名古屋市在住。東海地方のジャズ・クラブを中心に活動中。
http://www.cam.hi-ho.ne.jp/n-yoshioka/
〔ディスコグラフィー〕CD『**イントロデューシング**』(Newburry Street Music 2008 年 12 月 2500 円 アルトサックス奏者・浅井良将の 1st アルバムに参加) 『**I May Not Remember**』(Newburry Street Music 2007 年 4 月 2500 円 トロンボーン奏者・谷口知巳の 3rd アルバムに参加)

杉山圭一(33 期) シンセサイザー奏者/作編曲家/レコーディングエンジニア

〔略歴〕
1976 年函館市生まれ。㈱スタジオカリーブ代表取締役。1995 年、千葉大学工学部入学後、サウンドクリエイト研究会に所属、松前公高、千葉レーダの茂木淳一らと親交を深める。2000 年卒業、セガ・エンタープライゼス(後のセガゲームス)に入社。後にセガから独立した子会社ウェーブマスター所属になり、セガ内外を問わず多数のゲーム作品のサウンドに関わる。並行して元有頂天のケラ(劇作家のケラリーノ・サンドロビッチ)とのバンド「ザ・シンセサイザーズ」のほか、自身のバンド E.L.F.、ヤング 100V、航空電子、征露丸Xなどの活動を精力的に行う。2008 年に独立後、2012 年、㈱スタジオカリーブ設立。ゲームサウンド開発の代表作は『Rez』『ニュールーマニア ポロリ青春』『初音ミク -Project DIVA-シリーズ』(セガ)、『ブリンクス・ザ・タイムスイーパー』『CRIMSON DRAGON』(Microsoft)、『BECK』(マーベラス・インタラクティブ) 、『勇者ヤマダくん』(DMM.com)など多数。その他各種邦楽アーティスト・声優作品やキャラクターソング等の作曲・編曲、GACKT、中村あゆみ、GO-BANG'S、アーバンギャルド、

HALATION 等のアーティストのライブサポート、自身のバンドの活動も精力的に行っている。

林慎一郎（33 期）　劇作家/演出家

〔略歴〕

1977 年函館市生まれ。京都大学総合人間学部在学中に演劇活動を開始。その後、伊丹想流私塾にて北村想に劇作を師事し、2007 年、劇団終了とともに、公演ごとに俳優を集める個人プロデュース「極東退屈道場」を発足。代表・作・演出を務める。都市に暮らす人々の姿を俯瞰的な目線からノイジーに点描することで、切実な哀しみを透明な笑いに変え、その中に蜃気楼のように浮遊する「都市」の姿を切り取ろうと試みている。代表作に函館とおぼしき夜景を背景に、ロープウェイの中に行き過ぎるいくつかの冬に浮かびかつ沈む幾たりかの人々の会話がすがすがしく哀しい『夜ニ浮カベテ』（2004 年初演）が第 12 回 OMS 戯曲賞最終選考に残ったほか、『延髄がギリです。』（2007 年初演。第 25 回名古屋市文化振興賞戯曲の部　最終選考作品）や『大陸間弾道語学教室　東風荘』（2005 年初演）。『サブウェイ』で第 18 回（2011 年）OMS 戯曲賞大賞、『タイムズ』で第 20 回（2013 年）OMS 戯曲賞特別賞を受賞。『ガベコレ−garbage collection』で第15回（2014 年）AAF 戯曲賞最終選考。『PORTAL』で第 61 回〈2017 年〉岸田國士戯曲賞最終選考。現在、戯曲塾、伊丹想流私塾マスターコース・師範。劇作家、演出家としての活動のほか、高校演劇科、演劇ワークショップなどの講師も務めている。2017 年 11・12 月、関西・名古屋で「ファントム」を公演。http://taikutsu.info/nextstage/

板倉　匠（37 期）　フラメンコ舞踊手

〔略歴〕

1979 年函館市生まれ。上智大学外国語学部英語学科在学中にフラメンコと出会い、岡野裕子などに師事する。数度スペインへ渡り、ハビエル・ラトーレ、ファン・デ・ファン、アルフォンソ・ロサ、アントニオ・エル・ピパ、パブロ・セルバンテス等、数々の有名アーティストに師事する。日本では数少ない男性舞踊手として、東京・盛岡で教授活動を行いながら、地方公演や都内タブラオ、ライブハウス、イベント等に精力的に出演する。主な出演歴は 2010 年 8 月、六本木ヒルズの夏のイベント『EARTH BEATGARDEN』、2011 年 7 月、渋谷『JZ Brat Sound of Tokyo』でのゲンザン・三好”尺八スーパーライブ　in　東京”にてフラメンコ出演など。2010 年 12 月、故郷函館にて自身初のフラメンコ・コンサートを主催する。2013 年　3 月、スペインのヘレス・デ・ラ・フロンテーラで開催のフェスティバル・デ・ヘレスにて、『iAMOR　AMOR AMOR!』（邦題：「愛こそすべて」）に参加し好評を博す。躍動感あふれる、情熱的な踊りに定評がある。日本フラメンコ協会会員。http://www.seikohp.com/

菊地大輔（37 期）　ホルン奏者

〔略歴〕

1980 年函館市生まれ。12 歳よりホルンを始める。北海道教育大学函館校芸術文化課程音楽コースを卒業後、2005 年、東京藝術大学音楽学部別科を修了。2001 年第 7 回浜松国際管楽器アカデミー＆フェスティバルにおいて、ラスロ・ゼーマン氏のマスタークラスに参加。在学中より別府アルゲリッチ音楽祭、インチョン＆アーツ、ヨーロッパオーケストラフェスティバル、武生国際音楽祭等にオーケストラメンバーとして参加。2009〜2010 年にかけて、ウィーン・カンマー・ユーゲント・オーケストラ首席奏者ゾルタン・コダ

ーイ・ワールド・ユース・オーケストラ副首席奏者として、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、スロヴァキアで演奏活動を行う。2010 年、ハンガリー国立デブレツェン大学にてペーター・ケシェルー氏の下で研鑽を積む。2012 年にはソリストとして、MUSE オーケストラうしくとモーツァルト「ホルン協奏曲第 4 番」を共演し、好評を博す。これまでにホルンを島方晴康、故・千葉馨、小沢千尋、大野良雄、守山光三、金子典樹の各氏に、室内楽を故・松代晃明、山下晴生、稲川榮一の各氏に師事。現在、国内外のオーケストラに客演、映画・テレビの録音、吹奏楽コンクール審査員、ホルンアンサンブルの作・編曲等の活動のほか、国立音楽院およびムジカハウス N 講師として後進の指導に当たる。第 3 のホルンアンサンブル、金管魂各メンバー。デュオ・メナージュ主宰。

高佐一慈（38 期）　お笑いタレント/俳優

〔略歴〕

1980 年函館市生まれ。特技はパントマイム・ピアノ・卓球。早稲田大学理工学部中退。在学中はお笑いのサークル「早稲田大学寄席演芸研究会」に所属、大学対抗お笑いバトルで決勝にいったことがある。2004 年、故林広志第 3 期コントサンブルがきっかけで尾関高文と THE GEESE（**ザ・ギース**）を結成、**『ゼンセキ』**（TBS）や**『爆笑オンエアバトル』**（NHK）に出演し、人気・注目を集める。2006 年、初の単独ライブ**「手と足が同時に出る」**をシアターイワトにて行なった。2008 年、お笑いホープ大賞爆笑レッドカーペット賞受賞、**『キングオブコント』**（TBS）決勝進出。主なテレビ出演作品は**『爆笑レッドカーペット』『爆笑レッドシアター』**（フジテレビ）**『ザ・イロモネア』**（TBS）**『ぐるぐるナインティナイン』**（日本テレビ）など。現在、テレビやラジオ（**『大竹まことのゴールデンラジオ』**〈文化放送〉）、ライブで活躍中。舞台**「夏の夜の夢」**に出演。CM（PILOT「ハイテック C コレクト」など、CM や演劇にも活動の場を広げている。今、最も期待される若手お笑いコンビのひとつである。

〔DVD 出演〕**『Dr.バードと優しい機械』**（コロムビアミュージックエンターティメント　2009 年 8 月　3990 円　収録内容「退屈なフライト」「逆(さかしま)」「易医者」「レコーディング」「むかしむかし詐欺」など）

『ALTERNATE GREEN』（コロムビアミュージックエンターティメント　2010 年 6 月　3559 円　収録内容「オープニング」「テレパシー美容院」「じゃない方 OL」「男子ショートプログラム」など）

辻　博之（40 期）　クラシック指揮者

〔略歴〕

1984 年小樽市生まれ。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を長内勲、多田羅迪夫に、ピアノを中川和子、北川曉子に師事。声楽・作曲・ピアノ・指揮と様々な分野で活躍。特にオペラの分野では、新国立劇場はじめ、日本各地の劇場で、チョン・ミョン・フン、井上道義などの指揮者のアシスタントとして、オペラ指揮と舞台制作を学ぶ。また、東京藝大在学中の 2007 年にモーツァルト「レクイエム」で指揮者デビュー。現在、Amici della Musica Orchestra、船橋シティコーラス、函館ラ・サール東京同窓会グリークラブ OB 合唱団「アズマスィモン」、中野 MAX 合唱団、コーロ・デル・フィオーレ、あすみが丘室内合奏団指揮者など、合唱指導者、市民コーラス、市民オーケストラの指導者として幅広く活動している。作曲作品は合唱団や個人からの委託作品が多く、原作、脚本も自らの手による音楽劇**「奇跡の湖」**（2008 年 5 月初演）**「しずかなじかん」**（2008 年 12 月初演）**「しあわせのうた」**（2010 年 9 月初演、演出も）はいずれも好評を博した。2010 年 10 月にはブラームス「ドイツレクイエム」、2011 年には團伊玖磨「夕鶴」、ベー

トーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」、プッチーニ「ラ・ボエーム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ブラームス「交響曲第4番」を指揮をした。2012 年からは新たに設立されたプロオーケストラ、イルミナート・フィルハーモニーの指揮者に就任。2013 年、バチカン国際音楽祭においては合唱指揮をつとめた。2016 年、世界初 CD 化(4 枚組)した『「野ばら」111曲演奏会 ライヴ録音』(SLUR)の合唱指揮をした。今後も著名プロオーケストラやオペラへの客演が決まっている。https://hiroyuki-tsuji.themedia.jp/

越前皓也(44 期)　オペラピアニスト コレペティトール

〔略歴〕

1987 年青森市生まれ。広島大学教育学部音楽文化系コースで声楽を学び、後に伴奏ピアノに転向。ひろしまオペラルネッサンスを拠点として稽古ピアニスト、コレペティトール(歌手に対する音楽コーチ)としての研鑽を積む。古典から現代まで幅広いオペラの稽古ピアニスト、音楽スタッフとして公演に携わり、多くの指揮者・演出家・歌手から信頼を寄せられる。モーツァルトのレチタティーヴォ・セッコ(乾燥叙唱)の通奏低音奏者(ハンマーフリューゲル)や、オーケストラの鍵盤楽器奏者としての経験も多い。2018 年から拠点を東京に移し、2022 年 2 月には東京二期会「フィガロの結婚」の通奏低音奏者として抜擢された。2023 年からは新国立劇場の音楽スタッフとして、日本のトップクラスのプロダクションで更なる研鑽を重ねながら活動している。

田中永真(49 期)　漫才師

※新刊を出された著者の方、著書を出しているが本リストには未掲載という卒業生をご存知の方は函館ラ・サール同窓会 HP 管理人・大塚智美(14 期) tommy764217g@a04.itscom.net までお知らせください。

1993 年阿寒郡鶴居村生まれ。東京理科大学中退。東京理科大学落語研究会。第 5 回てんしき杯学生落語トーナメント 優勝。現在は、芸能事務所タイタン所属のお笑いコンビ「まんじゅう帝国」として、相方の竹内一希さんと活躍中。2021 年 第 24 回決戦!お笑い有楽城 優勝。2022 年 第 4 回ナルゲキ最強決定戦 優勝。